

第2章

シリアの政治主体（資料）

青山 弘之

要約：

本章では、シリアの権力構造がいかなる政治主体によって構成されているのかを具体的に把握するため、同国の大統領・副大統領、人民議会、内閣、政党・政治組織、政治同盟、ムハーバラートを一覧する。

キーワード：

シリア、人民議会、政治主体、政治同盟、政党・政治組織、大統領、内閣、ムハーバラート

1. 大統領，副大統領

公職	氏名	就任年月
大統領	バッシヤール・アサド	2000年7月
外務情報政策担当副大統領	ファールーク・シャルア	2006年2月
文化政策担当副大統領	ナジャーフ・アッタール	2006年3月

（出所） SANA [2000] [2006b] [2006c]などをもとに筆者作成。

2. 人民議会

(1) 選挙区・部門別議席配分（1990年〔第5期〕以降）

選挙区	A部門 ^(a)	B部門 ^(b)	合計
ダマスカス県	10	19	29
ダマスカス郊外県	10	9	19
クナイトラ県	3	2	5
ダルアー県	5	5	10
スワイダー県	4	2	6
アレppo市	7	13	20
アレppo県諸地域	17	15	33
ラッカ県	4	4	8
イドリブ県	12	6	18
ヒムス県	11	12	23
ハマー県	13	9	21
タルトゥース県	6	7	13
ラタキア県	9	8	17
デイル・ゾール県	8	6	14
ハサカ県	8	6	14
合計	127	123	250

（注）^(a) 労働者・農民部門。

^(b) その他の人民諸集団部門。

（出所）立法令第26号（選挙法，1973年4月14日発令，1981年10月3日，1986年1月9日，1990年4月15日，1998年8月4日に改正），http://www.parliament.gov.sy/web/mem_srch_prev.php（2006年9月アクセス）をもとに筆者作成。

(2) 政党・政治組織別議席配分（第7期，第8期人民議会）

政党・政治組織	第7期			第8期		
	A部門 ^(a)	B部門 ^(b)	合計	A部門	B部門	合計
進歩国民戦線	91	75	166	87	80	167
バアス党	77	60	137	73	59	132
バアス党以外の加盟政党	14	15	29	14	21	35
アラブ社会主義者運動アフマド派	0	4	4	2	2	4
アラブ社会主義連合党	2	3	5	5	2	7
アラブ民主連合党 ^(c)	—	—	—	0	1	1
国民誓約党（旧アラブ社会主義者運動ウスマーン派）	1	1	2	2	0	2

政党・政治組織	第7期			第8期		
	A部門	B部門	合計	A部門	B部門	合計
シリア共産党バクダーシュ派	2	2	4	1	3	4
シリア共産党ファイサル派	2	2	4	0	4	4
シリア民族社会党マハーイリー派 ^(d)	—	—	—	1	2	3
統一社会主義者党	4	3	7	2	5	7
統一社会民主主義党	3	0	3	1	2	3
無所属	36	48	84	36	47	83
うち						
シリア共産主義者統一国民委員会	—	—	—	1	0	1
シリア民族社会党ダフドゥーフ派	1	0	1	1	0	1
統一と民主主義のための連合	—	—	—	0	1	1

(注) ^(a) 労働者・農民部門。

^(b) その他の人民諸集団部門。

^(c) 2004年1月に進歩国民戦線に加盟。

^(d) 2005年5月に進歩国民戦線に加盟。

(出所) *Akhhār al-Sharq* [2002c] [2002d] [2003a] [2003b] [2003c] [2003d], *al-Ba'ith* [2003], *al-Nahār* [2003], SANA [2003], http://www.parliament.gov.sy/web/mem_srch_prev.php (2006年9月アクセス) などをもとに筆者作成。

(3) 人民議会議員氏名一覧

(a) 第7期人民議会

投票日：1998年11月30日，12月1日

任期：1998年12月17日～2002年12月16日

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
ダマスカス県	A部門 ^(a)	アブドゥッラッザーク・アークビーク	バアス党
		アブドゥルカーディル・カッドゥーラ (議長)	バアス党
		ムハンマド・ラアフアト・クルディー	シリア共産党ファイサル派
		マフムード・ザアタリーヤ	バアス党
		ムハンマド・マルワーン・シャイフー	無所属
		ファールーク・スライヤー	バアス党
		ナビール・ダーウド	無所属
		バースィール・ダフドゥーフ	無所属(シリア民族社会党ダフドゥーフ派)

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
		ムハンマド・ヤースィル・ナフラーウィー	無所属
		マハースィン・ワラア	バアス党
	B 部門 ^(b)	ムハンマド・シャーキル・アスィード	バアス党
		ハーシム・アッカード	無所属
		マハー・カンヌート	バアス党
		リヤード・サイフ ^(c)	無所属
		マフムード・シャバーブ	バアス党
		ムハンマド・イサーム・ジャマル	バアス党
		ムハンマド・バッシャール・シャームー	アラブ社会主義連合党
		アドナーン・ダハーヒニー	無所属
		アフマド・ヌーリー	バアス党
		ハッサーン・ヌーリー	無所属
		バハーッディーン・ハサン	無所属
		ムフイーッディーン・ハブブーシュ	無所属
		ムハンマド・アーリフ・ハナーヌー	無所属
		フダー・ヒムスィー	バアス党
		ムハンマド・マアムーン・ヒムスィー ^(d)	無所属
		バディーウ・ファッラーハ	無所属
		アクラム・フーリー	バアス党
		ムンズィル・ムーサッリー(副議長)	アラブ社会主義者運動カンヌート派(現アフマド派)
		アブドゥルワッハーブ・ラシュワーニー	シリア共産党バクダーシュ派
ダマスカス郊外県	A 部門	ザーヒル・アブー・フライフ	バアス党
		サミーラ・キシユカ	バアス党
		アイマン・ザイダーン	バアス党
		サーミヤ・シャーイル	バアス党
		ウマル・シャーリト	バアス党
		リフアート・タルシャーン	バアス党
		マフムード・ディヤーブ	無所属
		アルファーン・バラディイー	統一社会主義者党
		アブドゥッラティーフ・フサイン	バアス党
		アブドゥルアズィーズ・マアカーリー	無所属
	B 部門	アリー・アウワード	バアス党
		アブドゥッラフマーン・アフマル	無所属
		マームーン・カストラニー	アラブ社会主義者運動カンヌート派(現アフマド派)
		アフマド・カバラーン	バアス党
		ウスマーン・ジュムア	無所属
		アフマド・トゥルク	無所属

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
		ムスタファー・ナッジャール ^(e)	アラブ社会主義者運動ウスマーン派(現国民誓約党)
		アブドゥルカリーム・フーリー	バアス党
		スライマーン・ムーサー	バアス党
クナイトラ県	A 部門	ミドハト・サーリフ	バアス党
		アブドゥルハーディー・ズィヤーブ	無所属
		アリー・ムズイル	バアス党
	B 部門	シャラフッディーン・アバーザ	バアス党
		ハーリド・アッブード	バアス党
ダルアー県	A 部門	ムーサー・カッラード	バアス党
		アウダ・キッスィース	バアス党
		ユースフ・サアディー	無所属
		アブドゥッラー・ズウビー	バアス党
		ムハンマド・ジャミール・ムハーリブ	バアス党
	B 部門	ハラフ・アリー	無所属
		ハスナ・アワド	バアス党
		アリー・バトハ	バアス党
		ナーシル・ハリリー	無所属
		フサイン・リファーイー	バアス党
スワイダー県	A 部門	アブドゥッラー・アトラシュ	無所属
		シブリー・ジュヌード	バアス党
		ハーニー・ハッジャール	バアス党
		サービル・ファルフート	バアス党
	B 部門	カマール・アーミル	無所属
		カマール・バッラーン	バアス党
アレppo市	A 部門	アブドゥッラフマーン・イブリーク	バアス党
		アフマド・カルナ	バアス党
		アブドゥルカーディル・ザヤート	無所属
		ムハンマド・ジャウハル	バアス党
		ムニール・ジャーナート	無所属
		アリー・タルジャビーニー ^(f)	バアス党
		ジューマーナー・ラドワーン	シリア共産党バクダーシュ派
	B 部門	サバーフッディーン・アブー・クース	無所属
		ムアーウィヤ・アブドゥルワーヒド	アラブ社会主義連合党
		スイモン・イブラーヒーム	無所属
		ムハンマド・カヤーリー	統一社会主義者党
		フィルヤール・サトル	バアス党
		アブドゥルアズィーズ・シャーミー	無所属
		アドナーン・スフニー	バアス党
		ジョルジー・ハズィーム	シリア共産党ファイサル派
		アブドゥルマリク・ビッリー	無所属
		アフマド・ビッリー	無所属
		ムハンマド・サーリフ・マッラーフ	無所属

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
アレppo県諸 地域	A 部門	ムハンマド・マンスール	無所属
		アブドゥッラー・ムーサッリー	無所属
		ファーティナ・アフマド	バアス党
		ヌーリー・アリーフ	バアス党
		アブドゥルファッターフ・ウマル	バアス党
		ムハンマド・カルアー	バアス党
		ハリール・サフーク	無所属
		ムハンマド・サトム	バアス党
		ファウズィーヤ・サフウ	バアス党
		アリー・サーリム	統一社会民主主義党
		サーミー・シハービー	バアス党
		アブドゥルカーディル・ナアナア	無所属
		マナール・ナートゥール	バアス党
		ムハンマド・パッシュ	無所属
		ムハンマド・ジャマール・ハッスー	バアス党
		アフマド・フサイン	統一社会主義者党
		イブラーヒム・フーリー	無所属
		ディヤーブ・マーシー	無所属
		イスマト・マハッリー	バアス党
	B 部門	カマール・アール・アムウ	無所属
		ナイーム・ウライウィー	バアス党
		ムハンマド・ガリーブ	バアス党
		アブドゥルハミード・グバーリー	無所属
		アフマド・サイード	バアス党
		ムハンマド・サイード・サイード	バアス党
		アラッディーン・シャヒーマ ^(g)	無所属
		アブドゥルハーディー・ジャマル	無所属
		アフマド・スライマーン	バアス党
		アリー・ズワイン	バアス党
		ムハンマド・ナアサーン	無所属
		ムハンマド・ハサン	バアス党
		アフマド・マフムード	バアス党
		ムハンマド・ジュムア・ムルヒム	無所属
		ムハンマド・ナウラス・ラズーク	バアス党
ラッカ県	A 部門	ムスタファー・アーイド ^(h)	バアス党
		イスマーイル・アリー	バアス党
		アリー・イブラーヒム	バアス党
		シャアバーン・ハラフ	無所属
	B 部門	ジャースィム・サアドゥー	無所属
		ナドワ・サッルーム	バアス党
		ムハンマド・ジャミール・ハジュワー ン	バアス党
		ムハンマド・ナジブ・ムスタファー	統一社会主義者党

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
イドリブ県	A 部門	サイード・アリークー	アラブ社会主義連合党
		マーリク・アワド	バアス党
		マジドウッディーン・イーサー	統一社会主義者党
		ムハンマド・ウマル	無所属
		ムハンマド・スーフイー	バアス党
		アフマド・ターリブ	バアス党
		ナーディヤー・ハーシム	バアス党
		ヒクマト・ハッターブ	バアス党
		アリー・ハムドゥーン	バアス党
		ナフィーザ・ムアッリム	バアス党
		アブドゥルアズィーズ・ユースフ	バアス党
		ナスル・ユースフ	無所属
	B 部門	ワリード・アブドゥッラー	バアス党
		アフマド・カヤーリー	バアス党
		ムハンマド・ジャーウィーシュ	無所属
		アドナーン・マフズーム	バアス党
		ムハンマド・ニハード・ムンシャティト	アラブ社会主義者運動カンヌート派(現アフマド派)
		ナジュダト・ユースフ	無所属
ヒムス県	A 部門	イクバル・イブラーヒーム	無所属
		ニハード・ザンタフ	アラブ社会主義連合党
		ユースフ・シアール	アラブ社会主義者運動ウスマーン派(現国民警約党)
		ズハイル・ジャッブール	バアス党
		マフムード・ディヤーブ	バアス党
		ハドル・ナーイム	バアス党
		カーシム・ハルブ	バアス党
		ムハンマド・ハーリド・ヒラーキー	バアス党
		マフムード・ファドゥース	無所属
		ターハー・マグリビー	無所属
		アブドゥルアズィーズ・ムルヒム	無所属
	B 部門	アブドゥルワッハブ・アウダ	無所属
		アフマド・シャイフ	無所属
		アンマール・スィバーイー	バアス党
		アブドゥルバーリー・タッハーン	バアス党
		アブドゥッラー・トゥラース	無所属
		イブラーヒーム・ハスワ	バアス党
		ウマイマ・ハドゥール	バアス党
		アディーバ・ハマウイー	バアス党
		アブドゥルカリーム・フスニー	バアス党
		シャハーディー・マイフーブ	無所属
		ハーリド・マンスール	バアス党
		イサーム・ミスリー	無所属

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
ハマー県	A 部門	サディーフ・アスアド	統一社会民主主義党
		ムスタファー・アブドゥッラフマーン	無所属
		アミーン・アスファル	バアス党
		イブラーヒーム・アッバース	バアス党
		ジャウダト・アッフル	バアス党
		アブドゥルカリーム・イスマーイール	無所属
		イブラーヒーム・イブラーヒーム	バアス党
		ムハンマド・サイード	バアス党
		イブラーヒーム・ジャルジャナーズィー	バアス党
		ファーティン・ハーリド	バアス党
		イブラーヒーム・ハリール	無所属
		フサイン・フサイン	バアス党
		ハーリド・ムハンマド	無所属
	B 部門	ファーディー・アイヤーシュ	統一社会主義者党
		バフジャート・アスアド	バアス党
		アフマド・アフマド	アラブ社会主義者運動カンヌート派(アフマド派)
		マフムード・アルワーニー	バアス党
		ユーニス・サーリフ	バアス党
		スアード・バックール	バアス党
		アフマド・ハッターブ	無所属
		バッシャール・ハルビーヤ	無所属
		マヤード・ヤアクーブ	無所属
タルトゥース県	A 部門	インアーム・アッバース	無所属
		マフムード・アフイーフ	シリア共産党ファイサル派
		ワジーフ・シャイフ	バアス党
		ワアド・ハッダーム	バアス党
		ムハンマド・フサイン・マイフーブ ^(h)	バアス党
		ナスル・ムフリズ	バアス党
	B 部門	アッブード・アッブード	バアス党
		ラマダーン・アティーヤ	バアス党
		ムフスィン・ウムラーン	無所属
		アフマド・ガズィール	バアス党
		スハイル・ザイダーン	バアス党
		イマードウッディーン・スライマーン	バアス党
		ムハンマド・スライマーン	無所属
ラタキア県	A 部門	ファーリス・イスカandal	バアス党
		ニザール・イスマーイール	無所属
		ムハンマド・ファフリー・サイイド	バアス党
		ハイファー・サクル	バアス党
		ファールーク・シャンムート	バアス党
		ラフィーク・ダルウィーシュ	バアス党

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
		ナウファル・ナウファル	バアス党
		ユースフ・ハサン	バアス党
		イブラーヒーム・ルーザ	無所属
	B 部門	ジャミール・アサド	バアス党
		ムハンマド・サアド	バアス党
		ムハンマド・アリー・ナーシル	無所属
		マフディー・ハイル・ビク	無所属
		ムンズィル・マアルーフ	シリア共産党バクダーシュ派
		ムワッファク・マッキヤー	バアス党
		アフマド・アブー・ムーサー	バアス党
		スハイル・ライイス	バアス党
デイル・ゾール県	A 部門	アディーシュ・ガドバーン	バアス党
		ウマル・サリービー	統一社会民主主義党
		ザフラ・ジャースィム	バアス党
		ハマド・ジーラート	無所属
		アイマン・ダンダル	無所属
		アブドゥッサマド・ナウワーラ	バアス党
		アフマド・ハンマード	バアス党
		ナージー・ファーリス	無所属
	B 部門	アブドゥッラザーク・アウワード	バアス党
		アッブード・サーリフ	バアス党
		ラーギブ・アリー・スーフイー	バアス党
		ファイサル・ナジュラス	無所属
ハサカ県	A 部門	ハリール・ハフル	無所属
		ナジュムッディーン・ハリート	シリア共産党ファイサル派
		アブドゥッラフマーン・アウワード	バアス党
		ムハンマド・アリー	無所属
		アブドゥルアズィーズ・イーサー	無所属
		アブドゥルアフド・サファル	バアス党
		アスアド・サフウ	統一社会主義者党
		ハーミド・ジャースィム	バアス党
	B 部門	アラッディーン・ハマド	無所属
		ファーイク・ラムウ	シリア共産党バクダーシュ派
		アブドゥッラフマーン・アブドゥルカリーム	アラブ社会主義連合党
		ズィヤー・イスマーイール	無所属
		ナジュワ・トワーシャーン	バアス党
		ムハンマド・ハイサム・ドゥワイヒー	バアス党
		アフマド・ハサン	バアス党
		サミール・バーシャール	無所属

- (注) (a) 労働者・農民部門。
(b) その他の人民諸集団部門。
(c) 2001年9月7日に逮捕。
(d) 2001年8月9日に逮捕。

- (e) 任期中に死去し、ジャーッドウッラー・カッドウール（アラブ社会主義者運動カンヌート派〔現アフマド派〕）が繰り上げ当選。
- (f) 任期中に死去し、ワリード・イブラシー（無所属）が繰り上げ当選。
- (g) 任期中に死去し、ムハンマド・サーミフ・ジャズマーティー（無所属）が繰り上げ当選。
- (h) 2001年1月に公金横領・贈収賄を追及され、2002年6月に辞職。
- （出所） http://www.parliament.gov.sy/web/mem_srch_prev.php（2006年9月アクセス）などをもとに筆者作成。

(b) 第8期人民議会

投票日：2003年3月2, 3日

任期 2003年3月9日～2007年3月8日

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
ダマスカス県	A 部門 ^(a)	ガーリブ・ウナイズ	無所属
		アミーラ・ウラービー	バアス党
		ムハンマド・アンマール・サーアーティー	バアス党
		ナビール・ダーウド	無所属
		バースィール・ダフドゥーフ	無所属（シリア民族社会党ダフドゥーフ派）
		ムハンマド・ハーリド・ナジャーティー	バアス党
		スライマーン・ハッダード	バアス党
		ムハンマド・ハバシュ	無所属
		フダー・ヒムスィー	バアス党
		フダー・ムリーヒー	バアス党
	B 部門 ^(b)	ハーシム・アッカード	無所属
		ムハンマド・ファールーク・アブー・シャーマート	バアス党
		マフムード・アブラシュ（議長 ^(c) ）	バアス党
		ザカリヤー・アラム	統一社会民主主義党
		アブドゥルカーディル・カッドウーラ	バアス党
		ムハンマド・イサーム・ジャマル	バアス党
		ジョセフ・スワイド	シリア民族社会党マハーイーリー派
		ムハンマド・ザーヒル・ダアブール	無所属
		アドナーン・ダハーヒニー	無所属
		ガッサーン・ナッハース	無所属
		フナイン・ニムル	シリア共産党ファイサル派
		アンマール・バクダーシュ	シリア共産党バクダーシュ派
		バハーッディーン・ハサン	無所属
		ムフイーッディーン・ハブブーシュ	無所属
		ムハンマド・ハッラーク	バアス党
		ムハンマド・ハムシュー	無所属

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
ダマスカス郊外県		マルワーン・ブンニール	アラブ社会主義連合党
		マイ・マハーイニール	バアス党
		ムハンマド・ラドワーン・ミスリー	無所属
	A 部門	ムハンマド・アンワル・ウバイド	無所属
		ジャーッドウツラー・カッドウール	アラブ社会主義者運動アフマド派
		サミーラ・キシユカ	バアス党
		ムスタファー・ジャブル	バアス党
		イブラーヒーム・シャーミヤ	バアス党
		サラーフ・トゥウマ	バアス党
		サバーフ・ハンムーダ	バアス党
		イズディハール・マアトウーク	バアス党
		アブドゥルアズィーズ・ミウカーリー	無所属
		ハムザ・ムンズィル	無所属(シリア共産主義者統一国民委員会)
	B 部門	ニザール・アサスイー	バアス党
		アブドゥッラフマーン・アフマル	無所属
		アドナーン・アルバシュ	バアス党
		アフマド・ダーラーティー	統一社会民主主義党
		アーティフ・ナダーフ	バアス党
		ムハンマド・ウマル・バカーイー	無所属
		ウマル・ハッラーク	無所属
		マアン・バラカート	バアス党
		アフマド・ハリール	バアス党
クナイトラ県	A 部門	シャラフッディーン・アバーザ	バアス党
		ムハンマド・イーサー	無所属
		ムハンマド・ファシュタキー	バアス党
	B 部門	ナスルッディーン・ハイルツラー	バアス党
		イスマーイール・マルイー	バアス党
ダルアー県	A 部門	ファリード・アッカ	バアス党
		ハーリド・アッブード	統一社会主義者党
		アリー・アラファート	バアス党
		イブティサーム・サマーディー	バアス党
		ファールーク・ハマーディー	無所属
	B 部門	ナーイフ・アバーズィード	バアス党
		カーシム・イドリース	無所属
		ムーサー・ズウビー	アラブ民主連合党
		ムハンマド・フライブ	バアス党
スワイダー県	A 部門	ハリール・リファーイー	無所属
		ハサン・アッザーム	バアス党
		アブドゥッラー・アトラシュ	無所属
		ハマド・アブー・ターフィシュ	バアス党
		サービル・ファルフート	バアス党

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
アレppo市	B 部門	カマール・アーミル	無所属
		ハナーン・アムルー	バアス党
	A 部門	ムハンマド・シャアバーン・アズーズ	バアス党
		ムハンマド・サーフィー・アブーダー ン	バアス党
		アブドゥッラフマーン・サルキーニー	無所属
		アブドゥルアズィーズ・シャームー	無所属
		フィルヤール・スィーリース	バアス党
		アフマド・ダッバース	シリア共産党バクダーシュ派
		スハイル・マフマンドール	アラブ社会主義連合党
	B 部門	ムハンマド・ナージー・アトリー(議長 (c))	バアス党
		ハーリド・ウラビー	無所属
		ムハンマド・アーディル・ジャーム ース	無所属(統一と民主主義のための 連合)
		ハイサム・スーサリー	統一社会主義者党
		スーヌブール・スーヌブーリヤーン	無所属
		アドナーン・スフニー	バアス党
		マフムード・スルターン	バアス党
		ヒシャム・ハーンカーン	無所属
		アフマド・ビッリー	無所属
		エドワール・フリー	無所属
		ムハンマド・サーリフ・マッラーフ	無所属
		アブドゥッラー・ムーサッリー	無所属
		マフムード・ワハブ	シリア共産党ファイサル派
アレppo県諸 地域	A 部門	ムハンマド・アスアド	バアス党
		アブドゥー・アッサーフ	バアス党
		アービディーン・アラブー	無所属
		アキール・アッラーウィー	バアス党
		ムスタファー・ウワイド	バアス党
		ハサン・サッルーム	バアス党
		ムハンマド・サトム	バアス党
		ハリール・サフーク	無所属
		バドリヤ・シーハーン	バアス党
		ハッサーン・ターリブ	バアス党
		リヤード・ハサン	無所属
		ムハンマド・ジャマール・ハッスー	バアス党
		ムハンマド・ジャミール・ハラール	統一社会民主主義党
		ムハンマド・ビッシュ	無所属
		ディヤーブ・マーシー	無所属
		イード・ムハンマド	バアス党
		ムハンマド・ハサン・ラシード	アラブ社会主義連合党
	B 部門	アブドゥルハーディー・ジャマル	無所属

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
ラッカ県		ナーシル・カッドウール(副議長)	バアス党
		ファーティナ・アフマド	バアス党
		サウサン・ハズイーファ	バアス党
		アフマド・スライマーン	バアス党
		アフマド・マフムード	バアス党
		イスマト・マハッリー	バアス党
		アフマド・ムハンマド	バアス党
		アブドゥッラー・アブドゥッラー	統一社会主義者党
		ラドワーン・ハビーブ	バアス党
		アブドゥルカーディル・ナアナーア	無所属
		ムハンマド・ジュムア・ムルヒム	無所属
		ムハンマド・ナアサーン	無所属
		イスマト・グバーリー	無所属
		ムハンマド・サフワーン・ヒッラー	無所属
ラッカ県	A 部門	ナドワ・サッルーム	バアス党
		アリー・ジャシュアム	バアス党
		ムハンマド・アーイド・ビッリー	無所属
		ハリール・ムーサー	統一社会主義者党
	B 部門	ハラフ・アッラーン	バアス党
		イスマーイール・アブドゥルハッジュー	シリア共産党ファイサル派
		アブドゥッラー・ハサン	バアス党
イドリブ県	A 部門	ムハンマド・フワイディー	無所属
		スプヒー・アブドゥッラー	バアス党
		アフマド・カヤーリー	バアス党
		サラーフッディーン・シャイフ	無所属
		マルワーン・ナジュム	国民誓約党
		フダー・ヒジャーズィー	バアス党
		アッバース・ファーリス	バアス党
		アブドゥルカーディル・フンス	バアス党
		ナフィーザ・ムアッリム	バアス党
		アフマド・ムバーラク	バアス党
		イフサーン・ムフスィン	バアス党
		アブドゥッラッザーク・ユースフ	無所属
		アフマド・ユースフィー	バアス党
	B 部門	ムハンマド・ジャマール・ガザール	シリア共産党ファイサル派
		サフワーン・クラビー	バアス党
		ムハンマド・アクラム・ジュンディー	無所属
		アブドゥルバースィト・ハシューム	無所属
		アブドゥンナーシル・フマイダーン	バアス党
		ムハンマド・ニハード・ムンシャティト	アラブ社会主義者運動アフマド派
ヒムス県	A 部門	アンマール・スイバーイー	バアス党

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
		イブティサーム・スライマーン	バアス党
		ズハイル・タッラーフ	無所属
		ムハンマド・ハッサーン・ダルルービー	バアス党
		ウマイマ・ハドゥール	バアス党
		マフムード・ファドゥース	無所属
		ブシュラー・マスーフ	シリア民族社会党マハーイー ー派
		ムハンマド・ガッサーン・ミスリー	バアス党
		アブドゥルアズィーズ・ムルヒム	無所属
		アブドゥルカリーム・ムルヒム	無所属
		ムハッザブ・ラジューブ	アラブ社会主義者運動アフ マド派
	B 部門	ムハンマド・アスアド	バアス党
		ムウタツズ・アッバーラ	バアス党
		アドナーン・アフダブ	バアス党
		アフマド・カシュアム	バアス党
		ムハンマド・ズハイル・ガンヌーム	無所属
		アフマド・シャイフ	無所属
		シャアバーン・シャーヒーーン	統一社会主義者党
		ジルジス・シャヌール	シリア共産党バクダーシュ派
		アブドゥッラー・トゥラース	無所属
		ハドル・ナーイム	バアス党
ハマー県	A 部門	アブドゥルハーディー・アブドゥルカ リーム	バアス党
		サイフー・アフマド	バアス党
		アブドゥルカリーム・イスマーイール	無所属
		イブラーヒーム・イブラーヒーム	バアス党
		サミール・カンダクジー	バアス党
		ムハンマド・サイード	バアス党
		ハーシム・ザイーム	無所属
		アフマド・シャーミー	アラブ社会主義連合党
		スアード・バックール	バアス党
		イブラーヒーム・ハリール	無所属
		ナディーム・マリヤム	バアス党
		ハーリド・ムハンマド	無所属
		クルスーム・ワルダ	バアス党
	B 部門	イブラーヒーム・アスマル	無所属
		ファイサル・クルスーム	バアス党
		ムナー・サラーマ	バアス党
		ユーニス・ナースイーフ	バアス党
		アフマド・ハッターブ	無所属

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
タルトゥース県		ムハンマド・ハミードゥー	無所属
		ワリード・ファールス	シリア共産党バクダーシュ派
		フサイン・ファルザート	アラブ社会主義者運動アフマド派
		ジハード・ムラード	バアス党
	A 部門	ラマダーン・アディーヤ	バアス党
		インアーム・アッバース	無所属
		イブラーヒーム・スライマーン	バアス党
		ヒシャーム・タイヤーラ	バアス党
		リハーム・バシュール	アラブ社会主義連合党
		ワアド・ハッダーム	バアス党
	B 部門	イッズッディーン・ウムラーン	バアス党
		アフマド・ガズィール	バアス党
		ムハンマド・スライマーン	無所属
		ジョルジュ・ジャップール	バアス党
		ハドル・フサイン	無所属
		ワジーフ・ハーシム	統一社会主義者党
		ナジャーフ・ユニス	バアス党
ラタキア県	A 部門	ヤフヤー・アイヤーシュ	バアス党
		ニザール・イスマーイール	無所属
		ラフィーク・ダルウィーシュ	バアス党
		アフマド・ディーワーニー	バアス党
		ファウワーズ・ナッスール	無所属
		ユースフ・ハサン	バアス党
		アブドゥルカーディル・バーズィード ウー	アラブ社会主義連合党
		アドナーン・ビータール	バアス党
		ビラール・マスブート	バアス党
	B 部門	ジャミール・アサド ^(d)	バアス党
		マフムード・アリユー	バアス党
		スハイル・ウスマーン	無所属
		ラビーブ・ウルヤー	バアス党
		ヌマイル・ガーニム	無所属
		ジョゼフィン・ナッサール	バアス党
		イブラーヒーム・ブドゥール	バアス党
		スハイル・ライイス	バアス党
デイル・ゾール県	A 部門	ハディーヤ・アッバース	バアス党
		アッブード・サーリフ	バアス党
		アイマン・ダンドル	無所属
		ナーシイル・ナーシイル	バアス党
		ズィヤード・バアージュ	国民誓約党
		サーリフ・バシール	無所属
		アフマド・ハンマード	バアス党

選挙区	部門	氏名	所属政党・政治組織
ハサカ県	B 部門	ナージー・ファールス	無所属
		アブドゥッラッザーク・アウワード	バアス党
		ファイヤード・シャイフ	バアス党
		ファイサル・ナジュラス	無所属
		フアード・バッターフ	アラブ社会主義連合党
		ハリール・ハフル	無所属
		ハンムード・フサイン	バアス党
	A 部門	アリー・アーズィル	無所属
		アフマド・アティーヤ	バアス党
		ナーズィル・アブドゥルアズィーズ	バアス党
		ハンムード・シャビーブ	バアス党
		ムハンマド・シャムスッディーン	バアス党
		アブドゥッラー・バーズー	バアス党
		エリザベート・マラキー	バアス党
		フサイン・ムハンマド	無所属
	B 部門	スハイル・アルूसィー	バアス党
		シャッファーン・アリー	統一社会主義者党
		ムハンマド・アリー	バアス党
		ハーティム・ザーヒル	無所属
		イサーム・バグディー	シリア民族社会党マハーイー一派
		ムハンマド・ムスリト	無所属

(注) (a) 労働者・農民部門。

(b) その他の人民諸集団部門。

(c) ムハンマド・ナージー・アトリーは 2003 年 3 月から 9 月まで人民議会議長を務めたのち、首相に就任。この人事改編を受け、マフムード・アブラシュが 2003 年 10 月に人民議会議長に就任。

(d) 2004 年 12 月に死去し、ジャアファル・ハイイル（バアス党）が繰り上げ当選。

(出所) http://www.parliament.gov.sy/web/mem_srch_prev.php (2006 年 9 月アクセス) などをもとに筆者作成。

3. 内閣

(1) 第 1 次ムハンマド・ムスタファー・ミールー内閣 (2000 年 3 月 13 日発足)

閣僚ポスト	氏名	所属政党・政治組織
首相	ムハンマド・ムスタファー・ミールー	バアス党
経済担当副首相	ハーリド・ラアド	バアス党
内閣担当副首相	ムハンマド・ナージー・アトリー	バアス党
副首相, 国防大臣	ムスタファー・トゥラース	バアス党
運輸大臣	マクラム・ウバイド	バアス党

閣僚ポスト	氏名	所属政党・政治組織
開発計画大臣	イサーム・ザイーム	無所属
外務大臣	ファールーク・シャルア	バアス党
灌漑大臣	ターハー・アトラシュ	無所属
観光大臣	カースィム・ミクダード	バアス党
教育大臣	マフムード・サイイド	バアス党
供給国内貿易大臣	ウサーマ・マー・バーリド	バアス党
経済外国貿易大臣	ムハンマド・アマーディー	無所属
建設大臣	ムハンマド・ニハード・ムンシャティ (a)	アラブ社会主義者運動カン ヌート派(現アフマド派)
工業大臣	アフマド・ハムウ	バアス党
高等教育大臣	ハッサーン・リーシャ	バアス党
財務大臣	ムハンマド・ハーリド・マハーイニー	バアス党
社会問題労働大臣	バーリア・クドスィー	アラブ社会主義連合党
宗教関係大臣	ムハンマド・ズィヤーダ	バアス党
住宅公共施設大臣	フサーム・サファディー	統一社会主義者党
情報大臣	アドナーン・ウムラーン	バアス党
石油鉱物資源大臣	ムハンマド・マーヒル・ジャマール	バアス党
地方行政大臣	サッラーム・ヤースィーン	バアス党
通信技術大臣	ムハンマド・ラドワーン・マールティ ーニー	シリア共産党ファイサル派
電力大臣	ムニーブ・ダフル	バアス党
内務大臣	ムハンマド・ハルバ	バアス党
農業・農業改革大臣	アスアド・ムスタファー	バアス党
文化大臣	マハー・カンヌート(a)	バアス党
保健大臣	ムハンマド・イヤード・シャッティー	無所属(b)
法務大臣	ムハンマド・ナビール・ハティーブ	バアス党
外務担当国家大臣	ナーシル・カッドウール(a)	バアス党
環境問題担当国家大臣	ファールーク・アーディリー	統一社会民主主義党
人民議会担当国家大臣	ムハンマド・ムフディー・サイフー	バアス党
大統領担当国家大臣	ムハンマド・ハイサム・ドゥワイヒー(a)	バアス党
国家大臣	イフサーン・シュライティフ	バアス党
国家大臣	ハッサーン・ヌーリー(a)	無所属
国家大臣	マフル・アブー・ハーミダ	シリア共産党バクダーシュ派

(注) (a) 人民議会議員。

(b) Akhbār al-Sharq [2001a], Azmashlī [2001]によるとバアス党。

(出所) Ḥamīdī [2000]をもとに筆者作成。

(2) 第2次ムハンマド・ムスタファー・ミールー内閣 (2001年12月13日発足)

閣僚ポスト	氏名	所属政党・政治組織
首相	ムハンマド・ムスタファー・ミールー	バアス党
経済担当副首相	ムハンマド・フサイン	バアス党
内閣担当副首相	ムハンマド・ナージー・アトリー	バアス党
副首相, 外務大臣	ファールーク・シャルア	バアス党
副首相, 国防大臣	ムスタファー・トゥラース	バアス党
運輸大臣	マクラム・ウバイド	バアス党
開発建設大臣	フサーム・アスワド	統一社会主義者党
灌漑大臣	ムハンマド・ラドワーン・マールティ ーニー	シリア共産党ファイサル派
観光大臣	サアドウッラー・カルア	無所属
教育大臣	マフムード・サイイド	バアス党
供給国内貿易大臣	バッサーム・ルストウム	アラブ社会主義連合党
経済外国貿易大臣	ガッサーン・リファイー	無所属
工業大臣	イサーム・ザイーム	無所属
高等教育大臣	ハッサーン・リーシャ	バアス党
財務大臣	ムハンマド・アトラシュ	バアス党
社会問題労働大臣	ガーダ・ジャービー	無所属
宗教関係大臣	ムハンマド・ズィヤーダ	バアス党
住宅公共施設大臣	アイマン・ワーニリー	不明
情報大臣	アドナーン・ウムラーン	バアス党
石油鉱物資源大臣	イブラーヒーム・ハッダード	バアス党
地方行政大臣	ハラル・アトラシュ	バアス党
通信技術大臣	ムハンマド・バシール・ムナッジド	無所属 ^(b)
電力大臣	ムニーブ・ダフル	バアス党
内務大臣	アリー・ハンムード	バアス党
農業・農業改革大臣	ヌールッディーン・マナー	無所属
文化大臣	ナジュワー・ハサン	バアス党
保健大臣	ムハンマド・イヤード・シャッティ	無所属
法務大臣	ムハンマド・ナビール・ハティーブ	バアス党
大統領担当国家大臣	ムハンマド・ハイサム・ドゥワイヒー ^(a)	バアス党
環境問題担当国家大臣	アドナーン・フザーム	シリア共産党ファイサル派
在外居住者問題担当 国家大臣	ナースイル・カッドゥール ^(a)	バアス党
国家大臣	アブドゥンナースイル・ダーウード	アラブ社会主義連合党
国家大臣	ファイサル・ジャーウィーシュ	統一社会主義者党
国家大臣	アブドゥルカリーム・ユースフ	シリア共産党バクダーシュ派

(注) ^(a) 人民議会議員。

^(b) *Akhbār al-Sharq* [2001a], *Azmashlī* [2001]によるとシリア共産党(派閥は不明)。

(出所) *Akhbār al-Sharq* [2001a], *Azmashlī* [2001]などをもとに筆者作成。

(3) 第1次ムハンマド・ナージー・アトリー内閣 (2003年9月18日発足)

閣僚ポスト	氏名	所属政党・政治組織
首相	ムハンマド・ナージー・アトリー ^(a)	バアス党
運輸大臣	マクラム・ウバイド	バアス党
外務大臣	ファールーク・シャルア	バアス党
灌漑大臣	ナーディル・ブンニー	シリア共産党ファイサル派
観光大臣	サアドウッラー・カルア	無所属
教育大臣	アリー・サアド	バアス党
経済通商大臣	ガッサーン・リファーイー	無所属
工業大臣	ムハンマド・サーフィー・アブーダー ン	バアス党
高等教育大臣	ハーニー・ムルタダー	無所属
国防大臣	ムスタファー・トゥラース ^(b)	バアス党
在外居住者大臣	ブサイナ・シャアバーン	バアス党
財務大臣	ムハンマド・フサイン	バアス党
社会問題労働大臣	スイハーム・ディッラー	無所属
宗教関係大臣	ムハンマド・ズィヤーダ	バアス党
住宅建設大臣	ムハンマド・ニハード・ムンシャティ ット ^(a)	アラブ社会主義者運動アフ マド派
情報大臣	アフマド・ハサン ^(a)	バアス党
石油鉱物資源大臣	イブラーヒーム・ハッダード	バアス党
地方行政環境大臣	ハラール・アトラシュ	バアス党
通信技術大臣	ムハンマド・バシール・ムナッジド	無所属
電力大臣	ムニーブ・ダフル	バアス党
内務大臣	アリー・ハンムード	バアス党
農業・農業改革大臣	アーディル・サファル	バアス党
文化大臣	マフムード・サイイド	バアス党
保健大臣	ムハンマド・イヤード・シャッティ ー	無所属
法務大臣	ニザール・アサスィー ^(a)	バアス党
大統領担当国家大臣	ガッサーン・ラッハーム	バアス党
国家大臣	フサーム・アスワド	社会統一主義者党
国家大臣	ユースフ・アフマド	シリア共産党バクダーシュ派
国家大臣	バッシャール・シャッアール	アラブ社会主義者運動ウス マーン派(現国民誓約党)
国家大臣	ギヤース・ジュルアトリー	統一社会民主主義党
国家大臣	ムハンマド・ヤフヤー・ハッラ ート	アラブ社会主義連合党

(注) ^(a) 人民議会議員。

^(b) 2004年5月に定年で勇退し、ハサン・トゥルクマーニー参謀総長が後任に任命される。

(出所) Hamīdī [2003b]をもとに筆者作成。

(4) 第2次ムハンマド・ナージー・アトリー内閣 (2004年10月4日発足)

閣僚ポスト	氏名	所属政党・政治組織
首相	ムハンマド・ナージー・アトリー ^(a)	バアス党
経済担当副首相	アブドゥッラー・ダルダリー ^(b)	無所属
運輸大臣	マクラム・ウバイド	バアス党
外務大臣	ファールーク・シャルア	バアス党
灌漑大臣	ナーディル・ブンニー	シリア共産党ファイサル派
観光大臣	サアドゥッラー・カルア	無所属
教育大臣	アリー・サアド	バアス党
経済通商大臣	アーミル・ルトフィー	バアス党
工業大臣	ガッサーン・タイヤーラ	バアス党
高等教育大臣	ハーニー・ムルタダー	無所属
国防大臣	ハサン・トゥルクマーニー	バアス党
在外居住者大臣	ブサイナ・シャアバーン	バアス党
財務大臣	ムハンマド・フサイン	バアス党
社会問題労働大臣	ディヤーラー・アーリフ	無所属
宗教関係大臣	ムハンマド・ズィヤード・アイユービー	無所属
住宅建設大臣	ムハンマド・ニハード・ムンシャティ ^(a)	アラブ社会主義者運動アフマド派
情報大臣	マフディー・ダフルッラー	バアス党
石油鉱物資源大臣	イブラーヒーム・ハッダード	バアス党
地方行政環境大臣	ハラール・アトラシュ	バアス党
通信技術大臣	ムハンマド・バシール・ムナッジド	無所属
電力大臣	ムニーブ・ダフル	バアス党
内務大臣	ガーズィー・カナアーン ^(c)	バアス党
農業・農業改革大臣	アーディル・サファル	バアス党
文化大臣	マフムード・サイイド	バアス党
保健大臣	マーヒル・フサーミー	無所属
法務大臣	ムハンマド・ガフリー	無所属
大統領担当国家大臣	ガッサーン・ラッハーム	バアス党
国家大臣	ユースフ・アフマド	シリア共産党バクダーシュ派
国家大臣	フサーム・アスワド	社会統一主義者党
国家大臣	バッシャール・シャッアール	アラブ社会主義者運動ウスマーン派(現国民誓約党)
国家大臣	ギヤース・ジュルアトリー	統一社会民主主義党
国家大臣	ムハンマド・ヤフヤー・ハッラート	アラブ社会主義連合党

(注) ^(a) 人民議会議員。

^(b) 2005年6月14日に任命。

^(c) 2005年10月12日に自殺。

(出所) Akhbār al-Sharq [2004a] [2005h], SANA [2005b]をもとに筆者作成。

(5) 第3次ムハンマド・ナージー・アトリー内閣（2006年2月11日発足）

閣僚ポスト	氏名	所属政党・政治組織
首相	ムハンマド・ナージー・アトリー ^(a)	バアス党
経済担当副首相	アブドゥッラー・ダルダリー	無所属
運輸大臣	ヤアリブ・バドル	バアス党
外務大臣	ワリード・ムアッリム	バアス党
灌漑大臣	ナーディル・ブンニー	シリア共産党ファイサル派
観光大臣	サアドゥッラー・カルア	無所属
教育大臣	アリー・サアド	バアス党
経済通商大臣	アーミル・ルトフィー	バアス党
工業大臣	フアード・ジュニー	バアス党
高等教育大臣	ムハンマド・ギヤース・バラカート	バアス党
国防大臣	ハサン・トゥルクマーニー	バアス党
在外居住者大臣	ブサイナ・シャアバーン	バアス党
財務大臣	ムハンマド・フサイン	バアス党
社会問題労働大臣	ディヤーラー・アーリフ	無所属
宗教関係大臣	ズィヤードウッディーン・アイユービー	無所属
住宅建設大臣	ハンムード・フサイン ^(a)	バアス党
情報大臣	ムフスィン・ビラール	バアス党
石油鉱物資源大臣	スフィヤーン・アラウ	バアス党
地方行政環境大臣	ハラール・アトラシュ	バアス党
通信技術大臣	ウマル・サーリム	バアス党
電力大臣	アフマド・アリー	バアス党
内務大臣	バッサーム・アブドゥルマジード	バアス党
農業・農業改革大臣	アーディル・サファル	バアス党
文化大臣	リヤード・アーガー	無所属
保健大臣	マーヒル・フサーミー	無所属
法務大臣	ムハンマド・ガフリー	無所属
大統領担当国家大臣	ガッサーン・ラッハーム	バアス党
国家大臣	ユースフ・アフマド	シリア共産党バクダーシュ派
国家大臣	ハッサーン・サーリー	社会統一主義者党
国家大臣	バッシヤール・シャッアール	国民誓約党
国家大臣	ギヤース・ジュルアトリー	統一社会民主主義党
国家大臣	ジョセフ・スワイド ^(a)	シリア民族社会党マハーイリー派
国家大臣	フサイン・ファルザート	アラブ社会主義者運動アフマド派

（注）^(a) 人民議会議員。

（出所） SANA [2006a]をもとに筆者作成。

4. 主な政党・政治組織，政治同盟

(1) 政党・政治組織^(a)

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
アラブ革命労働者党 (Ḥizb al-‘Ummāl al-Thawrī al-‘Arabī)	1965年11月に元バアス党員が結成。ターリク・アブー・ハサン書記長(1997年に就任)。
アラブ社会主義者運動 (Ḥaraka al-Ishtirākīyīn al-‘Arab) アフマド派	1962年半ばにバアス党と訣別したアクラム・ハウラーニー、アブドゥルガニー・カンヌートらが1964年に結成。アフマド・アフマド書記長(2001年5月に就任)。進歩国民戦線加盟組織。
アラブ社会主義者運動アイヤーシュ派	1972年3月にアラブ社会主義者運動カンヌート派(現アフマド派)から分離し結成。アブドゥルガニー・アイヤーシュ書記長(1996年に就任)。シリア国民民主連合加盟組織。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
アラブ社会主義バアス党 (Ḥizb al-Ba‘th al-‘Arabī al-Ishtirākī)	1947年に正式に結成。1963年3月の「バアス革命」で全権を掌握。ハーフィズ・アサド民族指導部書記長(1971年8月に就任、2000年6月死去)。バッシャール・アサド・シリア地域指導部書記長(2000年6月に就任)。進歩国民戦線加盟政党。
アラブ社会主義バアス党民族指導部派	1966年にバアス党を離反したミシェル・アフラク初代民族指導部書記長を支持する一派。シリア国民民主連合加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
アラブ社会主義連合党 (Ḥizb al-Ittihad al-Ishtirākī al-‘Arabī)	1963年7月にバアス党を離反したジャマール・アターシーらが1964年7月にナセリストとともに結成。サフワーン・クドスィー書記長(1983年10月に就任)。進歩国民戦線加盟政党。
アラブ社会主義連合民主党 (Ḥizb al-Ittihad al-Ishtirākī al-‘Arabī al-Dīmuqrāṭī)	1973年4月にアラブ社会主義連合党から分離し結成。ハサン・アブドゥルアズィーム書記長(2000年4月に就任)。シリア国民民主連合加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
アラブ社会民主主義バアス党 (Ḥizb al-Ba‘th al-‘Arabī al-Ishtirākī al-Dīmuqrāṭī)	1970年11月にバアス党から分離し結成。イブラーヒーム・マーフース書記長。シリア国民民主連合加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
アラブ自由人運動 (Ḥaraka Rijāl al-‘Arab al-Aḥrār)	結成年不明。シドニーで活動するリベラル組織。ラシード・トゥーヒー代表。
アラブ民主連合党 (Ḥizb al-Ittihad al-‘Arabī al-Dīmuqrāṭī)	1988年7月にアラブ社会主義連合党から分離し結成。ガッサーン・アフマド・ウスマーン書記長。進歩国民戦線加盟政党(2004年1月に新規加盟)。
共産主義行動党 (Ḥizb al-‘Amal al-Shuyū‘ī)	1976年に結成。ファーティフ・ジャームス政治局メンバー、アスラーン・アブドゥルカリーム政治局メンバーらが指

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
	導。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
クルド・シリア民主合意 (al-Wifāq al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī al-Sūrī)	2004年9月にクルディスタン労働者党(Partîya Karkeren Kurdistan, 略称 PKK)の元メンバーが結成。カマル・シャーヒー総合調整局長(2005年2月にイラクで暗殺)。デイル・ゾール国民民主委員会参加組織。民主的対話のための国民会合・パリ1主催・参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
クルド・シリア民主党(al-Hizb al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī al-Sūrī, クルド語名 Partîya Demokrat ya Kurdî li Sûriyê, 1957年6月にシリア・クルディスタン民主党[al-Hizb al-Dīmuqrāṭī al-Kurdistanî fî Sûriya]の名で結成し, 1958年に改称)から分離し結成。ジャマール・バーキー書記長。1992年2月から2003年12月までシリア・クルド民主同盟に加盟。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。	
公正建設運動(Haraka al-‘Adāla wa al-Binā’)	2006年5月にロンドンで結成されたイスラーム組織。ونس・アブダ代表。
国民誓約党(Hizb al-‘Ahd al-Waṭanī)	1994年にアラブ社会主義者運動カンヌート派(現アフマド派)から分離し結成。2004年12月に現在の党名に改称。ガッサーン・アブドゥルアズィーズ・ウスマーン書記長(1994年に就任)。進歩国民戦線加盟政党(1994年に新規加盟)。
国民民主自由主義者連合(Tajammu‘ al-Ahrār al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī)	結成年不明。米国を拠点とするリベラル組織。フサーム・ダイリー書記長。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
国民民主ムスタクバル党(Hizb al-Mustaḡbal al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī)	結成年不明。ナウワフ・バシール党首。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
ゴラン解放人民委員会(al-Hay‘a al-Sha‘biya li-Tahrīr al-Jawlān)	結成年不明。ゴラン高原の解放をめざすレジスタンス組織。マジード・アブー・サーリフ・スポークスマン。
ジェラーデト・ベドウルハーン文化会議(Muntadā Celadet Bedirxan al-Thaqāfī)	2000年12月に結成されたクルド民族主義系の文化会議。
ジハードとタウヒードのためのジュンド・アッ=シャーム機構(Tanzīm Jund al-Shām li-l-Jihād wa al-Tawḥīd)	1990年代にアフガニスタンでシリア人、パレスチナ人、ヨルダン人らが結成。メソポタミアのアル=カーイダ機構(Tanzīm al-Qā’ida fī Bilād al-Rāfidayni)と関係があると言われる。2005年6月、ダマスカス市郊外で治安当局と交戦し、2人死亡。2005年8月、シリア・レバノン国境でシリアの治安当局と交戦。2005年9月、ハマー市郊外で対テロ部隊(Qūwāt Mukāfaha al-Irhāb)と交戦し、5人死亡。また同時期、ハサカ県の「隠れ家」に突入した「対テロ部隊」と交戦し、1人が死亡。なお2005年12月にイドリブで対テロ部隊と交戦した「イスラーム原理主義者」や、2006年9月にダマスカス市内の米大使館襲撃を試みた「イスラーム原理主義者」とこの組織との関係は不明。

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
市民社会再生諸委員会 (Lijān Iḥyā' al-Mujtama' al-Madani)	2001年1月に結成。アーリフ・ダリーラ・スポークスマン(2001年9月に逮捕)。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加組織。デイル・ゾール国民民主委員会参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
ジャマール・アターシー民主的対話会議 (Muntadā Jamāl al-Atāsī li-l-Ḥiwār al-Dīmuqrāṭī)	2001年1月に結成された文化会議。スハイル・アターシー運営会議議長。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
自由国民主義者同盟 (Taḥāluf al-Waṭaniyyīn al-Aḥrār)	2005年半ばにアレppoで結成されたりベラル組織。サミール・ナッシャー代表。
自由祖国党 (Ḥizb al-Waṭan al-Ḥurr)	2006年8月に結成。ゴラン高原の解放をめざす親政権政党。サイフルハック・マンスール党首。
自由民主主義者党 (Ḥizb al-Dīmuqrāṭiyyīn al-Aḥrār)	2006年3月に米テキサス州ダラスで結成。アブドゥッラティーフ・ムニール党首。
自由民主連合 (al-Tajammu' al-Dīmuqrāṭī al-Ḥurr)	2005年8月に結成されたりベラル組織。カマル・ルブワーニー(2005年11月に逮捕)代表。
ジュンド・アッ=シャーム聖戦機構 (Tanẓīm Jund al-Shām li-l-Jihād)	結成年不明。2005年にカタルの英国系学校を襲撃。
シリア・アッシリア運動 (al-Ḥaraka al-Āshūriya al-Sūriya)	1957年に結成。別名アッシリア民主機構 (al-Munazzama al-Āthūriya al-Dīmuqrāṭiyya)。バシール・サアディー政治局スポークスマン。シリア民主同盟加盟組織。デイル・ゾール国民民主委員会参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア・アラブ人権機構 (al-Munazzama al-'Arabīya li-Ḥuqūq al-Insān fī Sūriyā)	2003年11月に結成(アラブ人権機構・シリア支部として発足)。ムハンマド・ラアドゥーン会長。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア・イスラーム解放党 (Ḥizb al-Taḥrīr al-Islāmī – Wilāya Sūriya)	1952年にヨルダンで結成されたイスラーム解放党 (Ḥizb al-Taḥrīr al-Islāmī – al-'Ālam) のシリア「支部」。アター・アブー・ラシュタ党首(アミール[amīr], 2003年に就任)。
シリア・ウンマ党 (Ḥizb al-Umma al-Sūri)	結成年不明。ダッラール・マウラー・スポークスマン。
シリア改革党 (Ḥizb al-Iṣlāḥ al-Sūri)	2000年にワシントン DC で結成。ファリード・ガーディリー党首。アリー・フサイン・スポークスマン。2003年11月から2004年4月までシリア民主同盟に加盟。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア解放民主戦線 (al-Jabha al-Dīmuqrāṭiyya li-Taḥrīr Sūriya)	結成年不明。ペイルートを拠点とする平和・左派運動。マアン・カルバーシュ・スポークスマン。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア共産党 (al-Ḥizb al-Shuyū'ī al-Sūri) バクダーシュ派	1924年に結成したシリア・レバノン共産党 (al-Ḥizb al-Shuyū'ī al-Sūri al-Lubnānī) を母体とする。ウィサル・ファルハ(ハーリド・バクダーシュ初代書記長の妻)書記長(1995年に就任)。進歩国民戦線加盟政党。
シリア共産党ファイサル派	1986年にバクダーシュ派から分離し結成。ユースフ・ファイサル第一書記(1986年に就任, 2006年5月までの役職名は書記長)。進歩国民戦線加盟政党(1986年に新規加盟)。

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
シリア共産党『カシオン』・グループ (Majmū'a Qāsiyūn)	2000年9月にシリア共産党バクダーシュ派を離反したダマスカス地域委員会メンバーが2001年5月に結成。カドリ・ジャミール委員長。
シリア近代民主主義党 (Hizb al-Hadātha wa al-Dīmuqrāṭīya li-Sūriya)	2001年4月に結成。フィラース・カッサース・スポークスマン。民主的シリアのための同盟加盟政党。シリア民主同盟加盟政党(2004年2月から4月まで一時脱退)。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルディスタン・クルド民主団結会議 (Majlis al-Taḍāmun al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī - Kurdistan Sūriyā)	2006年5月に独オーバーハウゼンで結成された在欧クルド人団体の連合体。
シリア・クルディスタン真実運動 (Ḥaraka al-Ḥaqīqa al-Kurdistāniya - Sūriyā)	2006年5月にシリア・クルド民主統一党(イエキーティ)から分離し結成。ヌーリー・バリムー代表。シリア・クルディスタン国民会議参加組織。2006年9月に組織の解体と、シリア・クルド民主党(アル・パールティ) (派閥は明示せず)への入党を宣言。
シリア・クルディスタン民主パールティ (Bārtī Dīmuqrāṭī Kurdistan Sūriyā, クルド語名 Partiya Demokrat a Kurdistanê - Sūriyê)	結成年不明。タウフィーク・ハムドゥーシュ指導委員会議長。民主的シリアのための同盟加盟政党。シリア民主同盟加盟政党。民主的対話のための国民会合・パリ1主催・参加政党。
シリア・クルディスタン民主変革運動 (Ḥaraka al-Taghyīr al-Dīmuqrāṭī al-Kurdistānī fī Sūriya)	2004年4月に西クルディスタン亡命政府 (Ḥukūma Gharb Kurdistan fī al-Manfā) の名で結成。2006年1月に現在の党名に改称。リズガル・カースィム議長。民主的対話のための国民会合・パリ1主催・参加組織。
シリア・クルド・アーザーディー党 (Hizb Āzādī al-Kurdī fī Sūriyā)	2005年5月にシリア・クルド左派党ムラード派(1965年8月にシリア・クルド民主党から分離、ハイルッディーン・ムラード書記長)とシリア・クルド人民連合党 (Hizb al-Ittiḥād al-Sha'bī al-Kurdī fī Sūriyā, クルド語名 Partiya Hevgirtina Gelê Kurd li Sūriyê, 1975年にシリア・クルド左派党から分裂し、1980年8月に改称、ムスタファー・ジュムア書記長) が合併し結成。ハイルッディーン・ムラード書記長。2005年5月から2006年3月までシリア・クルド民主戦線に加盟。シリア・クルディスタン国民会議参加政党。
シリア・クルド・イエキーティ党 (Hizb Yakitī al-Kurdī fī Sūriya, クルド語名 Partiya Yekitī ya Kurd li Sūriyê)	1992年から1993年にかけて結成。アブドゥルバーキー・アル＝ユースフ(ユースフに定冠詞「アル＝」がつく)中央委員会書記長、アブドゥルバーキー・ユースフ政治委員会メンバー。シリア民主同盟加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。民主的対話のための国民会合・パリ1主催・参加政党。シリア・クルディスタン国民会議参加政党。
シリア・クルド国民民主党 (al-Hizb al-Dīmuqrāṭī al-Waṭanī al-Kurdī fī Sūriyā)	シリア・クルド進歩民主党ダーウド派から分離し結成(結成年不明)。ターヒル・サフーク書記長。シリア・クルド民主戦線加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルド左派党 (al-Hizb al-Yasārī al-Kurdī fī Sūriyā, クルド語名 Partiya Çep a Kurd li Sūriyê) イ	1965年8月にシリア・クルド民主党から分離し結成。ハイルッディーン・イブラーヒーム書記長。シリア・クルド民主戦線

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
ブラーヒーム派	加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルド人権委員会 (Lajna Huqûq al-Insân al-Kurdî fî Sûriyâ, クルド語名 Malpera Mafê Mirovên Kurdê li Sûriyê, 通称 Maf)	1996年に結成された人権団体。
シリア・クルド人権活動家連合 (Ittîhād al-Huqûqîyîn al-Kurd fî Sûriyâ)	2006年9月に結成された人権団体。
シリア・クルド人権基本的自由委員会 (al-Lajna al-Kurdîya li-Huqûq al-Insân wa al-Hurrîyât al-Asāsîya fî Sûriyâ)	2006年4月に結成。通称クルド人権委員会(al-Lajna al-Kurdîya li-Huqûq al-Insân)。ラディーフ・ムスタファー執行委員会議長。
シリア・クルド人権侵害監視団 (al-Marşad al-Kurdî li-Intihākât Huqûq al-Insân fî Sûriyâ, 通称 RUWANGE)	結成名不明。人権団体。
シリア・クルド進歩民主党 (al-Hizb al-Dîmuqrâtî al-Taqaddumî al-Kurdî fî Sûriyâ, クルド語名 Partîya Dêmoqratî Pêşverû Kurd li Sûriyê) ダルウィーシュ派	1970年8月にシリア・クルド民主党から分離し結成。1977年に現在の党名に改称。アブドゥルハミード・ダルウィーシュ書記長(1970年8月に就任)。シリア・クルド民主同盟加盟政党(1994年に新規加盟)。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルド進歩民主党ダーウド派	1980年代初めにシリア・クルド進歩民主党ダルウィーシュ派から分離し結成。アズィーズ・ダーウド書記長。シリア・クルド民主戦線加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルド民主党(アル・パールティー) (al-Hizb al-Dîmuqrâtî al-Kurdî fî Sûriyâ (al-Bartî), クルド語名 Partîya Demokrat ya Kurdî li Sûriyê (al Partî)) イブラーヒーム派	シリア・クルド民主党の後身。ナスルッディーン・イブラーヒーム書記長。シリア・クルド民主同盟加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルド民主党(アル・パールティー)ムスタファー派	シリア・クルド民主党(アル・パールティー)イブラーヒーム派から分離(結成年不明)。ムハンマド・ナズィール・ムスタファー書記長。シリア・クルド民主戦線加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア・クルド民主党(アル・パールティー)暫定指導部 (al-Qiyāda al-Mu'aqqata) 派	2006年6月に「復活」を宣言したシリア・クルド民主党(アル・パールティー)の一派。
シリア・クルド民主統一党(イエキーティー) (Hizb al-Wahda al-Dîmuqrâtî al-Kurdî fî Sûriya (Yakîti), クルド語名 Partîya Yekîti ya Demokrat ya Kurd li Sûriyê (Yekîti))	シリア・クルド・イエキーティー党が結成する直前に離反した活動家たちが1993年に結成。ムフィーッディーン・アーリー書記長。シリア・クルド民主同盟加盟政党(1999年に新規加盟)。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
シリア・クルド・ムスタクバル潮流 (Tayyār al-Mustaqbal al-Kurdî fî Sûriyâ)	2005年5月に結成。ミシュアル・タンムー・スポークスマン。デイル・ゾール国民民主委員会参加組織。シリア・クルディスターン国民会議参加組織。
シリア国民人権機構 (al-Munazzama al-Waṭanīya li-Ḥuqūq al-Insān fî Sûriya)	2006年3月に結成。アブドゥッラヒーム・ガンマール、アンマール・クルビーらが指導。
シリア国民民主ナフダ党 (Ḥizb al-Nahḍa al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī fî Sûriya)	2003年に結成。リベラル政党。アブドゥルアズィーズ・ムスリト党首。
シリア国民民主連合 TWD (al-Tajammu' al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī - TWD)	1988年に結成。マルワーン・ハンムード最高調整委員会総合調整役。民主的対話のための国民会合・パリ1主催・参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。シリア国民民主連合とは別組織。
シリア・ゴラン占領地における国民抵抗者たち (Rijāl al-Muqāwama al-Waṭanīya fî al-Jawlān al-Sūrī al-Muḥtall)	結成年不明。ゴラン高原の解放をめざすレジスタンス組織。2006年7月、マジュダル・シャムスのイスラエル軍基地への放火、イスラエル軍車両爆破への実行声明を発表。2006年8月、イスラエルで拘束中のシリア人22人のうち拘束期間が22年を越えた4人を解放するため、イスラエル兵を捕捉し、捕虜交換を行う意思を表明。
シリア自由国民主義者党 (Ḥizb al-Waṭanīyīn al-Aḥrār al-Sūrīyīn)	結成年不明。アブドゥッラー・フマイディー党首。国内(ハマー)で活動し、シリア改革党を支持。
シリア自由国民団結運動 (Ḥaraka al-Ḥurrīya wa al-Taḍāmun al-Waṭanī fî Sûriya)	結成年不明。アブドゥルハミード・ハドル書記長。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア人権委員会 (al-Lajna al-Sûriya li-Ḥuqūq al-Insān)	1997年に結成されたロンドンを拠点とする人権団体。ワリード・サックール会長。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア人権監視団 (al-Marṣad al-Sūrī li-Ḥuqūq al-Insān)	結成年不明。人権団体。
シリア人権機構 (al-Munazzama al-Sûriya li-Ḥuqūq al-Insān, 通称 Swāsīya [SWASIAH])	2004年9月に結成。サーディク・ジャラル・アズム名誉会長、マフナド・フサイニー運営会議議長、アブドゥルカリーム・ライハーニー会長。
シリア人権基本的自由擁護クルド機構 (al-Munazzama al-Kurdīya li-Difā' 'an Ḥuqūq al-Insān wa al-Ḥurrīyāt al-'Āmma fî Sûriyā, 通称 DAD)	結成年不明。人権団体。
シリア人権協会 (Jam'īya Ḥuqūq al-Insān fî Sûriya)	2001年7月に結成。ファーイズ・ファウワーズ会長(2005年5月に就任)。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加組織。デイル・ゾール国民民主委員会参加組織。
シリアのための連合 (al-Tajammu' min Ajl Sûriya)	2005年3月にワシントンDCで結成。ファフド・ミスリー・スポークスマン。民主的対話のための国民会合・パリ1主催・参加組織。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア報道の自由・ジャーナリスト擁護国民センター (al-Markaz al-Waṭanī li-l-Difā' 'an Ḥurrīya al-Ṣaḥāfa wa al-Ṣaḥāfiyīn fî	2005年5月にダマスカスで結成された人権団体。ミシェル・キールー代表。

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
Sūriya, 通称フツリーヤート [Hurriyāt])	
シリア民主行動委員会 (al-Lajna al-Sūriya li-l-'Amal al-Dīmuqrāṭī)	結成年不明。ムハンマド・アフマド・バックール・スポークスマン。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア民主人民党 (Ḥizb al-Sha'b al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī)	1969年にシリア共産党(現バクダーシュ派)を離反したリヤード・トゥルクらが1973年に結成。2005年5月までシリア共産党政治局を名のる。アブドゥッラー・フーシャ第1書記。シリア国民民主連合加盟政党。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加政党。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名政党。
シリア民主潮流 (al-Tayyār al-Sūrī al-Dīmuqrāṭī)	2005年4月に国外で結成。ムフイーッディーン・ラーズカーニー書記長。
シリア民主的諸自由人権擁護諸委員会 (Lijān al-Difā' 'an al-Ḥurriyāt al-Dīmuqrāṭiya wa Ḥuqūq al-Insān fī Sūriyā, 英語名 Committees for the Defense of Democratic Freedoms and Human Rights in Syria, 略称 CDF)	1989年に結成。アクサム・ナイーサ会長(2000年9月に就任)。基本的自由人権擁護国民調整委員会参加組織。
シリア民主的変革のための調 整委員会 (Lajna al-Tansīq min Ajl al-Taghyīr al-Dīmuqrāṭī fī Sūriya)	2005年11月にパリで結成。ファールーク・サブア執行委員会スポークスマン。
シリア民主党 (al-Ḥizb al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī)	2002年に結成。
シリア民主連合党 (Ḥizb al-Ittiḥād al-Dīmuqrāṭī fī Sūriyā, ク ルド語名 Partiya Yekîti ya Demokratîk)	2003年9月にPKKの元メンバーが結成。フアード・ウマル書記長。
シリア民族社会党 (al-Ḥizb al-Sūrī al-Qawmī al-Ijtimā'ī) マハ ーイリー派	1932年11月に結成(ダマスカス政治局は2001年7月に開設)。イサーム・マハーイリー・シリア政治局長。進歩国民戦線加盟政党(2005年5月に新規加盟)。
シリア民族社会党ダブドゥーフ 派	2003年1月にシリア民族社会党マハーイリー派から離反。バースイール・ダブドゥーフ人民議会議員が指導。
シリア民族社会党インティファ ーダ派 (Janāḥ al-Intifāḍa)	結成年不明。アントゥーン・アビー・ハイダルが指導。デイル・ゾール国民民主委員会参加政党。
シリア・ムスリム同胞団 (Jamā'a al-Ikhwān al-Muslimīn fī Sūriya)	1945年から1946年にかけて結成。アリー・サドルッディーン・バヤースーニー最高監督者(1996年に就任)。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア・リベラル党 (al-Ḥizb al-Librālī al-Sūrī)	2006年1月にダマスカスで結成。
真実・公正・和解のための国 民会議 (al-Majlis al-Waṭanī li-l-Ḥaqīqa wa al-'Adāla wa al-Muṣālaḥa)	2001年7月にパリで結成した人権団体。ニザール・ナイユーフ会長。
世俗民主リベラル連合 'ADL (al-Tajammu' al-'Almānī al-Dīmuqrāṭī al-Librālī - 'ADL)	2005年8月にカマル・ルブワーニーが結成を試みた組織。
第三基軸 (al-Miḥwar al-Thālith)	2006年4月にワシントンDCで結成。マラフ・バカーイー・ス

政党・政治組織名	概説(結成年月、党首など)
	ポークスマン。
タウヒード・ワ・ジハード機構 (Tanzīm al-Tawhīd wa al-Jihād)	2006年11月28日、メンバーの一人、ウマル・アブドゥッラー(通称ウマル・ハムラー)が対レバノン国境の町ジュダイダ・ヤーブースの検問所で国境警備隊と銃撃戦の末自爆。
統一社会主義者党(Hizb al-Waḥdawīyīn al-Ishtirākīyīn)	1961年1月に元バアス党員が結成。ファーズ・イスマール書記長(1963年に就任)。進歩国民戦線加盟政党。
統一社会民主主義党(al-Ḥizb al-Waḥdawī al-Ishtirākī al-Dīmuqrāṭī)	1971年に統一社会主義者党を離反したアフマド・アスアドらが1974年10月に結成。ファドルッラー・ナースィルッディーン書記長(2001年に就任)。進歩国民戦線加盟政党(1989年に新規加盟)。
統一と民主主義のための連合(al-Tajammu' min Ajl al-Waḥda wa al-Dīmuqrāṭīya)	2001年1月に元アラブ社会主義連合党員が結成。ムハンマド・サウワーン書記長(2001年1月に就任)。
統一民族連合(al-Tajammu' al-Qawmī al-Muwaḥḥad)	2005年に欧州で結成。リファト・アサド党首。
民主自由連合(al-Tajammu' al-Lībrālī al-Ḥurr)	2005年7月にダマスカスで結成。リハブ・ビータール代表。
民主統一バアス主義者連合(Tajammu' al-Ba'ṭhiyīn al-Dīmuqrāṭīyīn al-Waḥdawīyīn)	結成年不明。ハビーブ・ハッダード・スポークスマン。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
レバノン・シリア人失踪者国民委員会(al-Lajna al-Ahliya li-l-Mafqūdīn al-Sūriyīn fī Lubnān)	結成年不明。ファイサル・クルスーム会長。

(注) ^(a) 2000年以降に活動が確認された主な政党・政治組織。

(出所) 青山 [2003a] [2003b] [2005a] [2005b] [2005c] [2006a] [2006b], Akhbār al-Sharq [2003f] [2005d] [2005e] [2005k] [2005l] [2006f] [2006g], Barīmū [2006], al-Ḥājj [2006], Ḥamīdī [2005c] [2005d] [2006a] [2006b], Ḥaraka al-'Adāla wa al-Binā' [2006], Ḥaraka al-Ḥaqīqa al-Kurdistāniya – Sūriyā [2006], al-Ḥizb al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī al-Sūrī – al-Qiyāda al-Mu'aqqata [2006], al-Hizb al-Lībrālī al-Sūrī [2006], Hizb al-Waṭaniyīn al-Ahrār al-Sūriyīn – al-Hay'a al-Qiyādiya [2006], Ittihad al-Ḥuqūqīyīn al-Kurd fī Sūriyā – al-Hay'a al-'Ulyā [2006], Lajna Ḥuqūq al-Insān al-Kurdī fī Sūriyā (Māf) [2006], al-Lajna al-Kurdiya li-Ḥuqūq al-Insān [2006], al-Lajna al-Kurdiya li-Ḥuqūq al-Insān – Majlis al-Idāra [2006], Lajna al-Tansiq min Ajl al-Taghyir al-Dīmuqrāṭī fī Sūriya [2005a] [2005b], Majlis al-Taḍamun al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī – Kurdistan Sūriyā [2006], Mārtinī [2006], al-Munazzama al-Waṭaniya li-Ḥuqūq al-Insān fī Sūriya [2006], al-Tajammu' al-'Almānī al-Dīmuqrāṭī al-Lībrālī [2005], ““Alarabiya.net” Tanshuru Milaffan “Shāmīlan” ‘an Aḥzāb al-Mu‘āraḍa al-Sūriya ..” (<http://www.tsdp.org/27-2-syria6.htm>, 2006年9月アクセス), “Timeline of Assyrian History” (<http://www.aina.org/aol/peter/timeline.htm>, 2006年9月アクセス), <http://www.akhawia.net/forum.php> (2006年9月アクセス), <http://www.dnp-party-sy.org/> (2006年9月アクセス), <http://www.hjzb-ut/tahrir.info/> (2006年9月アクセス), <http://hras-syria.tripod.com/> (2006年9月アクセス), <http://www.hurriyat.org/modules/news/> (2006年9月アクセス), <http://www.pcmsl.org/index.php/> (2006年9月アクセス), <http://www.shrc.org/defaultar.aspx> (2006年9月アクセス), <http://www.shro-syria.com/> (2006年9月アクセス), <http://www.syriaalaan.com/> (2006年9月アクセス), <http://www.syriaahr.com/> (2006年10月アクセス), <http://thirdalliance.net/> (2006年9月アクセス), <http://www.tsdp.org/index.htm> (2006年9月アクセス) などをもとに筆者作成。

(2) 政治同盟^(a)

組織名	概説(結成年月, 加盟政党・政治組織, 代表名など)
クルド協調委員会 (Lajna al-Tansīq al-Kurdī)	2006年4月にシリア・クルド・アーザーディー党とシリア・クルド・イエキーティー党によって設置される。同年7月にシリア・クルド・ムスタクバル潮流が参加。
進歩国民戦線 (al-Jabha al-Waṭaniya al-Taḡaddumiya)	1972年3月に結成。バアス党, アラブ社会主義者運動アフマド派, アラブ社会主義連合党, アラブ民主連合党(2004年1月に新規加盟), 国民誓約党(1994年に新規加盟), シリア共産党バクダーシュ派, シリア共産党ファイサル派(1986年に新規加盟), シリア民族社会党マハーイリー派(2005年5月に新規加盟), 統一社会主義者党, 統一社会民主主義党(1989年に新規加盟)からなる。バッシャール・アサド中央指導部書記長(2000年7月に就任)。本章7.(84~87ページ)を参照。
シリア国民民主連合 (al-Tajammu' al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī fī Sūriya)	1979年に結成。バアス党民族指導部派, アラブ社会主義者運動アイヤーシュ派, アラブ社会主義連合民主党, アラブ社会民主主義バアス党, シリア民主人民党からなる。ハサン・アブドゥルアズィーム・スポークスマン(2000年に就任)。
基本的自由人権擁護国民調整委員会 (Lajna al-Tansīq al-Waṭanī li-l-Difā' 'an al-Ḥurriyāt al-Asāsīya wa Ḥuqūq al-Insān)	2005年1月に発足。国籍剥奪者権利擁護委員会 (Lajna al-Difā' 'an Ḥuqūq al-Mujarradīn min al-Jinsīya), 市民社会再生諸委員会, シリア・アラブ人権機構, シリア・クルド・イエキーティー党, シリア・クルド民主戦線, シリア・クルド民主同盟, シリア人権協会, シリア国民民主連合, シリア民主的諸自由・人権擁護諸委員会, ジャマール・アタースィー民主的対話会議が参加。
デイル・ゾール国民民主委員会 (al-Lajna al-Waṭaniya al-Dīmuqrāṭīya fī Dayr al-Zawr)	2005年5月に発足。アラブ社会民主主義バアス党, 共産主義行動党, クルド・シリア民主合意, クルド・シリア民主党, 国民民主ムスタクバル党, 市民社会再生諸委員会, シリア・アッシリア運動, シリア・クルド・ムスタクバル潮流, シリア・クルド左派党イブラーヒーム派, シリア・クルド進歩民主党ダーウド派, シリア人権協会, シリア民主人民党, シリア民族社会党インティファーダ派, ラタキア国民民主行動委員会 (Lajna al-'Amal al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī fī al-Lādhaqiya) が参加。
民主的対話のための国民会合・バリ1 (al-Multaqā al-Waṭanī li-l-Ḥiwār al-Dīmuqrāṭī – Bārīs 1)	2005年9月に開催。クルド・アラブ友好協会 (Jam'iya al-Ṣadāqa al-Kurdīya al-'Arabīya), クルド・シリア民主合意, 国民自由青年連合 (Tajammu' al-Shabāb al-Waṭanīyīn al-Aḥrār), シヤーム学生運動 (al-Ḥaraka al-Tullābiya – Shām), シリア・クルディスターン民主パルティー, シリア・クルド・イエキーティー党, シリア国民民主連合 TWD, シリアのための連合, シリア賠償和解同盟 (Taḥāluf al-Qiṣāṣ wa al-Muṣālaḥa al-Sūrī), シリア文明民主党 (al-Hizb al-Ḥaḍārī al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī), シリア法律学センター (al-Markaz al-Sūrī li-l-Dirāsāt al-Qānūniya), シリア民主同盟, 西クルディスターン亡命政府(現シリア・クルディスターン民主変革運動)が主催・参加。
シリア・クルド民主戦線 (al-Jabha al-Dīmuqrāṭīya al-Kurdīya)	2001年3月に結成。シリア・クルド・アーザーディー党(2005

組織名	概説(結成年月, 加盟政党・政治組織, 代表名など)
fî Sûriyâ, クルド語名 Bera Demokrat a Kurd li Sûriyê, 略称 BDK)	年5月に加盟, 2006年3月に脱退), シリア・クルド国民民主党, シリア・クルド左派党イブラーヒーム派, シリア・クルド進歩民主党ダーウド派, シリア・クルド民主党(アル・パールティー)ムスタファー派からなる。
シリア・クルド民主同盟 (al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī fî Sûriyâ, クルド語名 Hevbendiya Demokrat a Kurd li Sûriyê)	1992年2月に結成。クルド・シリア民主党(2003年12月に脱退), シリア・クルド進歩民主党ダルウィーシュ派(1994年に新規加盟), シリア・クルド民主党(アル・パールティー)イブラーヒーム派, シリア・クルド民主統一党(イエキーティー)(1999年に新規加盟)からなる。
シリア民主同盟(al-Taḥāluf al-Dīmuqrāṭī al-Sûrî)	2003年11月にワシントンDCで結成。シリア・アッシリア運動, シリア・クルディスタン民主パールティー, シリア・クルド・イエキーティー党, シリア改革党(2004年4月に除名), シリア近代民主主義党などからなる。
民主的シリアのための同盟 (al-Taḥāluf min Ajl Sûriya Dīmuqrāṭīya)	2003年6月に欧州で結成。シリア・クルディスタン民主パールティー, シリア近代民主主義党などからなる。2003年11月にシリア民主同盟に発展解消。
シリア・クルディスタン国民会議(al-Majlis al-Waṭanī al-Kurdistanî – Sûriyâ)	2006年5月にブリュッセルで結成。シリア・クルディスタン真実運動, シリア・クルド・アーザーディー党, シリア・クルド・イエキーティー党, シリア・クルド・ムスタクバル潮流などが参加。シールクーフ・アッバース議長。
ダマスカス宣言フォローアップ調整委員会(Lajna al-Mutāba'a wa al-Tansīq li-I'lān Dimashq)	「ダマスカス国民民主変革宣言」(I'lān Dimashq li-l-Taghyīr al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī, 2005年10月に発表, 通称「ダマスカス宣言」[I'lān Dimashq])に署名・参加した政治組織・個人の反政府活動を指導するための執行機関。同宣言は, 国民民主ムスタクバル党, 市民社会再生諸委員会, シリア・クルド民主戦線, シリア・クルド民主同盟, シリア国民民主連合, そして無所属の有識者の連名で発表され, 共産主義行動党, クルド・シリア民主合意, 国民民主自由主義者連合, 在カナダ・シリア国民協会(al-Jam'īya al-Waṭanīya al-Sûriya fî Kanadā), ジャマール・アターシー民主的対話会議, シリア・アッシリア運動, シリア・アラブ人権機構, シリア改革党, シリア解放民主戦線, シリア近代民主主義党, シリア国民会議, シリア国民民主連合TWD, シリア自由国民団結運動, シリア自由国民同盟発足委員会(al-Hay'a al-Ta'sīsīya li-Taḥāluf al-Waṭanīyīn al-Ahrār fî Sûriya), シリア人権委員会, シリアのための連合, シリア民主行動委員会, シリア・ムスリム同胞団, スィルヤーニー民主運動(al-Haraka al-Dīmuqrāṭīya al-Siryānīya), ミーマース文化情報センター(Markaz al-Mīmās li-l-Thaqāfa wa al-I'lām), 民主統一バース主義者連合などが署名した。2005年10月, これらの組織の代表がダマスカス宣言暫定委員会(al-Lajna al-Mu'aqqata li-I'lān Dimashq)を結成し, 2006年4月から8月にかけて同委員会を母体としてダマスカス宣言フォローアップ調整委員会が発足。リヤード・サイフ執行部議長。
シリア国民会議(al-Majlis)	2005年半ばにワシントンDCで結成。ナジブ・ガドバー

組織名	概説(結成年月, 加盟政党・政治組織, 代表名など)
al-Waṭanī al-Sūrī)	ン, ムハンマド・ジュバイリー(シリアのための連合メンバー), ムハンマド・ハウワーム(自由団結フォーラム[Minbar al-Taḍāmun li-l-Hurriyāt]メンバー), フサーム・ダイリー(国民民主自由主義者連合書記長), アブドゥルムハイミン・スイバーイー(米シリア協会[al-Jam'iya al-Amrīkiya al-Sūriya])からなる。ナジーブ・ガドバーン執行委員会委員長。「ダマスカス国民民主変革宣言」署名組織。
シリア共産主義者統一国民委員会(al-Lajna al-Waṭaniya li-Waḥda al-Shuyū'iyyin al-Sūriyīn)	2002年10月, シリア共産党『カシオン』・グループが中心となって結成。
シリア国民救済戦線(Jabha al-Khulāṣ al-Waṭanī fī Sūriya)	2006年3月にブリュッセルで結成(6月にロンドンで正式に発足)。アブドゥルハリーム・ハッダーム前外務担当副大統領, シリア・ムスリム同胞団, シリア国民会議, シリア民主連合(al-Tajammu' al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī, カナダ), 国民民主自由主義者連合, アラブ・シャルク研究所(Ma'had al-Sharq al-'Arabī, ロンドン), 在カナダ・シリア国民協会, シリア国民民主連合TWD, サラーフ・バドルッディーン(シリア・クルド人民連合党前書記長)などからなる。

(注) (a) 2000年以降に活動が確認された主な政治同盟。

(出所) 青山 [2003a] [2003b] [2005a] [2005b] [2005c] [2006a] [2006b], 'Abbās [2006], Akhbār al-Sharq [2006e] [2006h], Hizb Āzādī al-Kurdī fī Sūriyā, Hizb Yakītī al-Kurdī fī Sūriyā and Tayyār al-Mustaqbal al-Kurdī fī Sūriyā [2006], al-Hizb al-Dīmuqrāṭī al-Taḡaddumī al-Kurdī fī Sūriyā – al-Maktab al-Siyāsī [2006], Jabha al-Khulāṣ al-Waṭanī fī Sūriya – al-Hay'a al-Ta'sīsīya [2006], al-Lajna al-Mu'aqqata li-I'lān Dimashq [2006], al-Majlis al-Waṭanī al-Kurdistānī – Sūriyā [2006], al-Tajammu' al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī – TWD – Hay'a al-Tansīq al-'Ulyā [2006], Tawfīq [2006]などをもとに筆者作成。

5. 主なムハーバラート

名称	概説
共和国護衛隊 (al-Ḥaras al-Jumhūrī)	シリア国軍参謀本部所轄／大統領直屬。1976年に大統領の警護と体制維持を目的に設立されたシリア最強のムハーバラート。 歴代共和国護衛隊司令官: <ul style="list-style-type: none"> ● アドナーン・マフルーフ: 在位 1976年～1995年。少将。アニーサ・マフルーフ(バッシャール・アサド大統領の母)の甥。1997年に死去。 ● アリー・ハサン: 1995年に就任(退任年不明)。 ● アブドゥルフアッターフ・クドスィー: 現共和国護衛隊司令官(就任年不明)。少将。バッシャール・アサド大統領の私設秘書。 主な幹部隊員: <ul style="list-style-type: none"> ● パースィル・アサド: 大統領治安(al-Amn al-Ri'āsī)隊司令官。准将。1994年1月に事故死。バッシャール・アサド大統領の兄(ハー

名称	概説
	<p>フィズ・アサド前大統領の長男)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バッシャー・アサド。 ● マーヒル・アサド: 共和国護衛隊の実質的司令官。大佐。バッシャー・アサド大統領の弟(ハーフィズ・アサド前大統領の四男)。 ● マナーフ・トゥラース: 共和国護衛隊参謀付。准将。ムスタファ・トゥラース前国防大臣の二男。
<p>空軍情報部 (Idāra Mukhābarāt al-Qūwa al-Jawwiya)</p>	<p>空軍所轄。ハーフィズ・アサド前政権のもと、1980年代まで国内で治安維持活動、国外で諜報活動を行っていたが、1990年代以降その地位を低下させている。</p> <p>歴代空軍情報部長:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ムハンマド・フリー: 在任 1970年～1987年10月。その後、空軍司令官(1987年10月～1999年6月)となる。軍における最高位は少将。 ● イブラーヒム・フワイジャ: 1987年10月に就任(退任年不明)。少将。 ● イズツディーン・イスマーイル少将。空軍情報部長(就任年不明)。2005年4月に定年を迎えた後も「予備役」として部長職にとどまったが、2006年4月、リフアト・アサド前民族安全保障担当副大統領と接触を試みたことをマーヒル・アサドに疑われ、退役を余儀なくされる。
<p>軍事情報局 (Shu'ba al-Mukhābarāt al-'Askariya)</p>	<p>シリア軍所轄の諜報機関・秘密警察組織。地域課 (Far' Minṭaqa, 別称ダマスкас課 [Far' Dimashq]), 尋問課 (Far' al-Taḥqīq), 特攻課 (Far' al-Mudāhama), パレスチナ課 (Far' Filasṭīn), レバノン駐留シリア軍治安偵察機構課 (Far' Jihāz al-Amn wa al-Istiqlāl, 2005年4月までレバノン実効支配を統括) などからなる。</p> <p>歴代軍事情報局長:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヒクマト・シハービー: 在任 1970年～1974年。元参謀総長(1974年～1998年1月)。中将。 ● アリー・ドゥーバー: 在任 1974年～2000年2月。少将。 ● ハサン・ハリール: 在任 2000年2月～2005年2月。少将。 ● アースィフ・シャウカト: 現軍事情報局長。少将。バッシャー・アサド大統領の姉(ハーフィズ・アサド前大統領の長女)ブシュラー・アサド女史の夫。2000年、軍事情報局内の第291課(士官課 [Far' al-Ḍubbāt]), 第292課(個人課 [Far' al-Afrād]), 第293課(情報課 [Far' al-Ma'lūmātīya])を統合して「軍治安課」(Far' Amn al-Qūwāt)を作り、その長となり、軍事情報局の実質的に統括。その後、2004年11月、同職を解かれ、軍事情報局次長に就任。2005年2月半ば、ハサン・ハリール軍事情報局長の退役に伴い、軍事情報局長代行となり、2005年6月に現職に正式に就任。 <p>主な高官:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ムハンマド・ハーッジ・アリー: 尋問課長(就任年不明)。准将。 ● ルストゥム・ガザーラ: ダマスкас郊外県課長。准将。前職はレバノン駐留シリア軍治安偵察機構課長(2002年10月～2005年4月)。レバノンから帰国後に現職に就任したとされるが、ジハードとタウヒードのためのジュンド・アッ=シャーム機構の掃討などに投入さ

名称	概説
	<p>れた対テロ部隊 (Qūwāt Mukāfaha al-Irhāb) を率いているとも言われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シャフィーク・ガッサ: 特攻課長 (2006年3月に就任)。前職は特攻課次長。准将。 ● ガーズィー・カナアーン: 1982年から2002年10月までレバノン駐留シリア軍治安偵察機構課長を務め、レバノン実効支配を統括。2002年10月から2004年10月までに政治治安部長を務める。内務大臣在任中の2005年10月12日、内務省執務室で自殺。少将。 ● ディーブ・ザイトゥニー: アレッポ課長 (就任年不明)。少将。 ● サイド・サムール: 総合情報部次長 (2006年6月に就任)。少将。現職に就く前は地域課長として「情報・文化ファイル」を担当していた。 ● ムハンマド・シャッアール: 地域課長 (2006年3月に就任)。南部地域課長兼務。准将。前職はタルトゥース課長。 ● アミーン・シャッラービー: パレスチナ課長 (2006年3月に就任)。准将。 ● ムニール・ジャルウッド: ヒムス課長。准将。現職に就く前はレバノン駐留シリア軍治安偵察機構課長 (ルストゥム・ガザーラ准将) の副官を務めた。 ● アリー・ハマード: 管理課 (al-Far' al-Idārī) 長 (2006年3月に就任)。准将。 ● アブドゥルムフスィン・ヒラール: 准将。2006年3月までラタキア課長を務める (後任は不明)。 ● ナズィーフ・マスウード: タルトゥース課長 (2006年3月に就任)。准将。
政治治安部 (Idāra al-Amn al-Siyāsī)	<p>内務省所轄。国内の政治勢力 (政党・政治組織、活動家) の活動監視を主な任務とする。学生・学生運動課 (Shu'ba al-Tullāb wa al-Anshiṭa al-Ṭullābīya), 指名手配者観察処分追跡対象者課 (Shu'ba al-Maṭlūbīn wa al-Murāqabīn wa al-Mulāḥaqīn), 政党課 (Shu'ba al-Aḥzāb al-Siyāsīya), 政府機関治安課 (Shu'ba Amn al-Mu'assasāt al-Hukūmīya), 都市課 (Shu'ba al-Madīna) などからなる。</p> <p>歴代政治治安部長:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アフマド・サーリフ: 在任 1970年～1987年。 ● アドナーン・ハサン: 在任 1987年～2002年10月。 ● ガーズィー・カナアーン: 在任 2002年10月～2004年10月。 ● ムハンマド・マンスーラ: 現政治治安部長 (2005年1月に正式に就任)。少将。前職は政治治安部次長。長年にわたり対クルド人政策に携わってきた。
総合情報部 (Idāra al-Mukhābarāt al-'Āmma)	<p>内務省所轄。1971年まで国家治安 (Amn al-Dawla) 局と称する。外務課 (al-Far' al-Khārijī), 管理課 (al-Far' al-Idārī), 拘置課 (Far' al-Sijn), 情報課 (Far' al-Ma'lūmāt), 尋問課 (Far' al-Taḥqīq), 諜報課 (Far' Mukhābarāt al-Tajassus), 特攻課 (Far' al-Mudāhama), 内務課 (al-Far' al-Dākhilī, 別称第251課 [Far' 251]), などからなる。</p> <p>歴代総合情報部長:</p>

名称	概説
	<ul style="list-style-type: none"> ● アドナーン・ダッバーク:在任 1970 年～1976 年。 ● ナズィーフ・ズライイル:在任 1976 年～1984 年。 ● ファード・アブスィー:在任 1984 年～1987 年。 ● マージド・サイード:在任 1987 年～1994 年。 ● バシール・ナッジャール:在任 1994 年～1998 年。 ● アリー・フリー:在任 1998 年～2001 年 9 月。 ● アリー・ハンムード:在任 2001 年 9 月～12 月。 ● ヒシャーム・ビフティヤール:在任 2001 年 12 月～2005 年 1 月。 ● アリー・マムルーク:現総合情報部長(2005 年 6 月に正式に就任)。少将。前職は空軍情報局調査課次長。 <p>主な高官:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バフジャト・スライマーン:総合情報部総務(al-Maqarr al-‘Āmm)課付(2005 年 6 月に異動)。少将。1980 年代半ばまでリファト・アサド前民族安全保障担当副大統領の執務室で務め、その後、バースィル・アサド准将の側近となった経歴を持つ。1999 年 4 月のムハンマド・ナースィーフ少将の退役を受け、総合情報部長内務課長に就任し、2005 年 6 月に現職に異動。 ● ファード・ナースィーフ(・ハイル・ビク):総合情報部内務課長(2005 年 6 月に就任)。少将。ムハンマド・ナースィーフの甥。 ● ムハンマド・ナースィーフ:1970 年代半ば以来、総合情報部次長兼同内務課長として同部を実質的に統括。1999 年 4 月に定年により次長職と内務課長職を解かれ、退役。その後同年 9 月、総合情報部次長に就任(復職)。2006 年 2 月、ファールーク・シャルア外務情報政策担当副大統領の補佐役となり、同年 4 月に正式に同副大統領補佐官に就任。 ● ハサン・ハッルーフ:総合情報部次長(2005 年 6 月に就任)。少将。前職は軍事情報局パレスチナ課長(2003 年頃に就任)。
民族治安局 (Maktab al-Amn al-Qawmī)	<p>バース党シリア地域指導部所轄。国内での諜報活動を主な任務とする。</p> <p>歴代民族治安局長:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アブドゥルカリーム・ジュンディール:1969 年に退任(暗殺)。 ● ナージー・ジャミール:在任 1970 年～1978 年。 ● アブドゥッラウフ・カスム:在任 1987 年～2000 年 6 月。 ● ムハンマド・サイード・バヒーターン:ダマスカス県刑事治安課(Far‘ al-Amn al-Jinā’ī)長(1994 年～1998 年)、ハマー県知事(1998 年～2000 年)を歴任した後、2000 年 6 月から 2005 年 6 月まで民族治安局長を務めた。現在はバース党シリア地域指導部副書記長(2005 年 6 月に就任)。 ● ヒシャーム・ビフティヤール:現民族治安局長(2005 年 6 月に就任)。退役少将(2005 年 1 月に退役)。軍事情報局次長(2000 年 2 月に就任)、総合情報部長(2005 年 6 月に就任)を歴任した後、現職に就任。

(出所) 青山 [2000] [2003b], *Akhbār al-Sharq* [2001b] [2002a] [2004b] [2004c] [2005a] [2005b] [2005g] [2005i] [2005j] [2005m] [2006a] [2006b] [2006c] [2006d], Aoyama [2001: 12-17], Ḥamīdī [1999] [2003c] [2005a], *al-Ḥayāt* [2002], Īnzstādt [2002], *al-Siyāsa*

[2006], Arab Decision (<http://www.arabdecision.org/>, 2006年7月アクセス)などをもとに筆者作成。

6. バアス党

(1) 第9回シリア地域大会（2000年6月17日～20日）で選ばれた地域指導部，中央委員会，検閲査察委員会

(a) 地域指導部

役職	氏名
書記長	バッシヤール・アサド
副書記長	アブドゥッラー・アフマル
副書記長	スライマーン・カッターフ
(外務担当副大統領)	アブドゥルハリーム・ハッダーム
(文化政策担当副大統領)	ムハンマド・ズハイル・マシャリーカ
(人民議会議長)	アブドゥルカーディル・カッドゥーラ
(首相)	ムハンマド・ムスタファー・ミールー
(副首相／首相)	ムハンマド・ナージー・アトリー
(外務大臣)	ファールーク・シャルア
(国防大臣)	ムスタファー・トゥラース
(地方行政大臣)	サッラーム・ヤースィーン
教育局長，前衛局長	ワリード・ブーズ
経済局長	ムハンマド・フサイン
高等教育局長	ムハンマド・ギヤース・バラカート
青年局長，スポーツ学生局長	マジード・シュドゥード
組織局長	ファーイズ・ナースィル
党出版局長，人民諸組織局長	アフマド・ディルガーム
農民局長	イブラーヒーム・フナイディー
法務局長，職業諸組合局長	ムハンマド・ファールーク・アブー・シャーマート
民族治安局長	ムハンマド・サイード・バヒーターン
労働者局長，財務局長	ワリード・ハムドゥーン

(出所) 青山 [2001: 29]をもとに筆者作成。

(b) 中央委員会

氏名	氏名
バッシヤール・アサド(委員長)	マーヒル・アサド
ムスタファー・アイド	アリー・アスラーン
ムハンマド・アイユーブ	ムハンマド・ナージー・アトリー

氏名	氏名
イマード・アサド	マナーフ・トゥラース
アラッディーン・アービディーン	ムスタファー・トゥラース
ムハンマド・ファールーク・アブー・シャーマート	ハサン・トゥルクマーニー
ムハンマド・サーフィー・アブーダーン	イッズッディーン・ナースィル
アフマド・アブドゥンナビー	スライマーン・ナースィル
アブドゥッラー・アフマル	ファーイズ・ナースィル
イルハーム・アリー	ハルビーヤ・バイダ
ムハンマド・イブラーヒーム・アリー	アブドゥルカリーム・ハイダル
ムハンマド・ズィアール・アリー	スアード・バックール
マフムード・アンマール	アドナーン・ハサン
アスアド・イーサー	ラフィーク・ハッダード
ファールーク・イーサー	アブドゥルハリーム・ハッダードム
スイナー・イバーラ	ヒンド・ハティーターニー
アドナーン・ウムラーン	ムハンマド・ナビール・ハティーブ
ナビール・ウムラーン	ガーズィー・ハドラ
ナジーブ・ガザウイー	ムハンマド・サイード・バヒーターン
ファイサル・カーシム	アリー・ハビーブ
ナヒーダ・カッサース	サイード・ハマーディー
スライマーン・カッダーフ	スプヒー・ハミーダ
アブドゥルカーディル・カッドウーラ	アフマド・ハムウ
スライマーン・カーディー	ワリード・ハムドゥーン
サラーフ・カナージュ	ムハンマド・ギヤース・バラカート
アブドゥッラー・ガルユーン	ハサン・ハリール
ハイルッディーン・サイイド	ユーニス・バルグード
マフムード・サイイド	ムハンマド・ハルバ
スイハーム・サーイグ	シャフィーク・ファイヤード
アブドゥッラフマーン・サイヤード	シャフナーズ・ファークーシュ
ハイファー・サクル	アブドゥルカーディル・フサイン
イブラーヒーム・サーフィー	イブラーヒーム・フサイン
ハーリド・サラーマ	ムハンマド・フサイン
サーミー・サーリフ	ワリード・ブーズ
ブサイナ・シャアバーン	イブラーヒーム・フナイディー
ジャミーラ・ジャッザ	アリー・フリー
マハー・シャビール	イブラーヒーム・フワイジャ
ファールーク・シャルア	ムハンマド・ズハイル・マシャーリカ
タウフィーク・ジャルール	カマール・マフフーズ
マジード・シュドゥード	ジューリヤー・ミーハーイール
ナジャーフ・スィット	ムハンマド・ムスタファー・ミールー
サイード・ズハイル	カマル・ムハンマド
ユスラー・タウィール	サッラーム・ヤースィーン
アフマド・ダシュウ	ハッサーン・リーシャ
アフマド・ディルガーム	ジャースィム・ムーサー

(出所) 青山 [2001: 30-31]をもとに筆者作成。

(c) 検閲査察委員会

氏名
アブドゥッラー・アブー・リーシュ(委員長)
ジャミール・ウワイド
ファウズィー・ジャウダ
サラファ・ディーブ
ザイド・ハッスーン

(出所) 青山 [2001: 31]をもとに筆者作成。

(2) 第10回シリア地域大会(2005年6月6日～9日)で選ばれた地域指導部, 中央委員会, 検閲査察委員会

(a) 地域指導部

役職	氏名
書記長	バッシヤール・アサド
副書記長, 財務局長	ムハンマド・サイード・バヒーターン
(人民議会議長)	マフムード・アブラシュ
(首相)	ムハンマド・ナージー・アトリー
(外務大臣/外務情報政策担当副大統領)	ファールーク・シャルア
(国防大臣)	ハサン・トゥルクマーニー
経済局長	ムハンマド・フサイン
高等教育学生養育局長, 前衛局長	ヤースィル・フリーヤ
職業組合局長, 法務局長	バッサーム・ジャーニビーヤ
人民諸組織局長, 青年スポーツ局長	シャフナーズ・ファークーシュ
組織局長	サイード・イーリヤー
党出版情報局長	ハイサム・サターイヒー
民族治安局長	ヒシャーム・ビフディヤール
労働者局長, 農民局長	ウサーマ・ウダイ

(出所) Akhbār al-Sharq [2005f], SANA [2005a]をもとに筆者作成。

(b) 中央委員会

氏名	氏名
サイード・アキール	ジャマール・アッパースィー
マーヒル・アサド	イブラーヒーム・アリー
バッサーム・アブー・アサリー	マーリク・アリー
ガッサーン・アスアド	アリー・アルサーン
ムハンマド・シャアバーン・アズーズ	ヤフヤー・アワド
ハイラーナ・アターツラー	ジャブル・イーサー
ハビーブ・アッパース	ナビーフ・イスマーイール

氏名	氏名
ディアース・イッツブディーン	ハーラ・ナースイル
アフマド・イドリース	ジョルジュ・ナフラ
サイード・イーリヤー	ハルビーヤ・バイダ
ムハンマド・リヤード・ウジャイリー	スアード・バックール
ウサーマ・ウダイ	フサイン・ハダール
マハー・ウマル	ターミル・ハッジー
ナビール・ウムラーン	アフマド・ハブブー
ナヒーダ・カッサース	ムハンマド・ナビール・ハティーブ
イッサト・カナジュ	ウマイマ・ハドゥール
マハー・ガンナーム	ハーズィム・ハドラー
ファイサル・クルスーム	ムハンマド・サイード・バヒーターン
マフムード・ザアタリーヤ	アリー・ハビーブ
ムハンマド・アンマール・サーアーティー	ムハンマド・ギヤース・バラカート
アリー・サアド	ワール・ハラキー
ハイサム・サターイー	リヤード・ヒジャーブ
ハンムダ・サッバグ	ヒシャーム・ビフディヤール
アーディル・サファル	シャフナーズ・ファークーシュ
アブド・サーリフ	ガッサーン・ファールス
ムスタファー・サーリフ	サービル・ファルフート
サッラーム・サンカル	ムハンマド・フサイン
ブサイナ・シャアバーン	ワリード・ブーズ
アフマド・ジャウジャウ	アフマド・フィッダ
アブドゥッラッザーク・ジャースィム	ハール・フーリーヤ
バッサーム・ジャーニビーヤ	ヤースィル・フーリーヤ
アブドゥンナーシル・シャフィーウ	ハリール・マシュハディーヤ
イブラーヒーム・シャーミヤ	アブドゥルムウティー・マシュラブ
ファールーク・シャルア	アブドゥルカーディル・ミスリー
バッシヤール・ジュナイド	ジューリヤー・ミーハーイール
アミーナ・スアイド	ハラフ・ミフターフ
ガーズィー・ズアイブ	イブラーヒーム・ムーサッリー
ムハンマド・スィターム	アブドゥルカリーム・ムスタファー
アフマド・スライマーン	マイスーン・ムスリマーニー
ユスラー・タウィール	イフサーン・ムフスィン
アフマド・ダシュウ	ムハンマド・ラシュディー・ムフタール
ムハンマド・ヤースィーン・ダマーラ	アフアーフ・ラッアード
ムハンマド・ディーブ	ファーティマ・ラアド
マナーフ・トゥラース	ダー우드・ラージハ
アントワーン・ドゥユーブ	ジュマーナ・ラマダーン
ハサン・トゥルクマーニー	ラマダーン・ラマダーン
サーミー・トゥルシャ	クルスーム・ワルダ

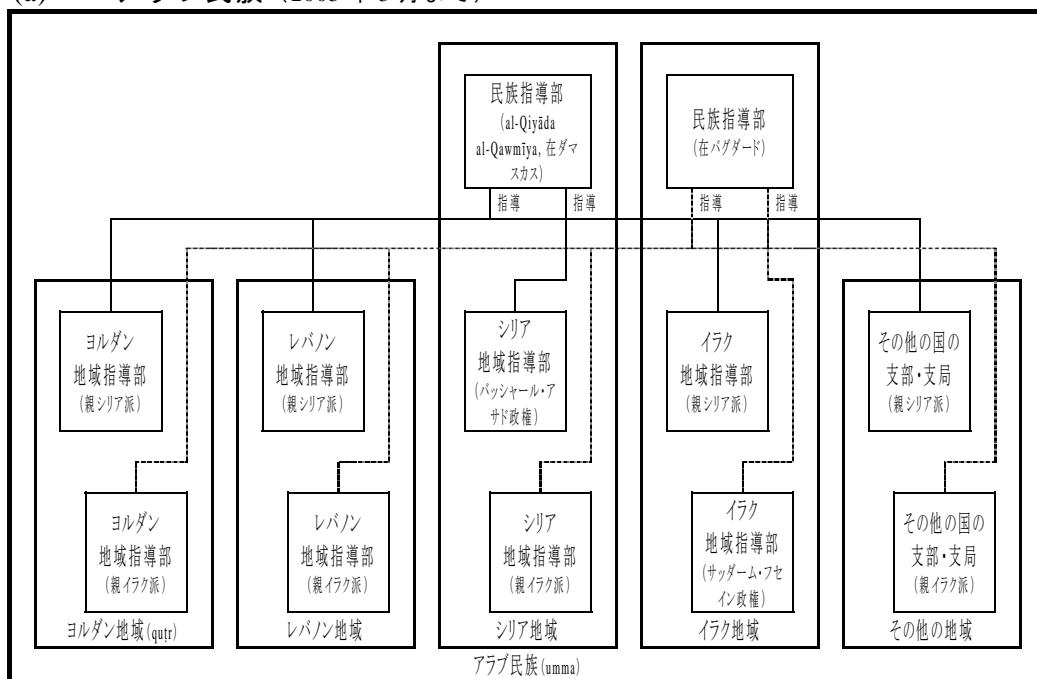
（出所） *al-Thawra* [2005]をもとに筆者作成。

(c) 検閲査察委員会

氏名
ディアース・イッズッディーン(委員長)
イッザト・カーティビー
ラジャブ・カーンシュージュ
ファウズイー・ジャウダ
サラーフア・ディーブ
(出所) <i>al-Thawra</i> [2005]をもとに筆者作成。

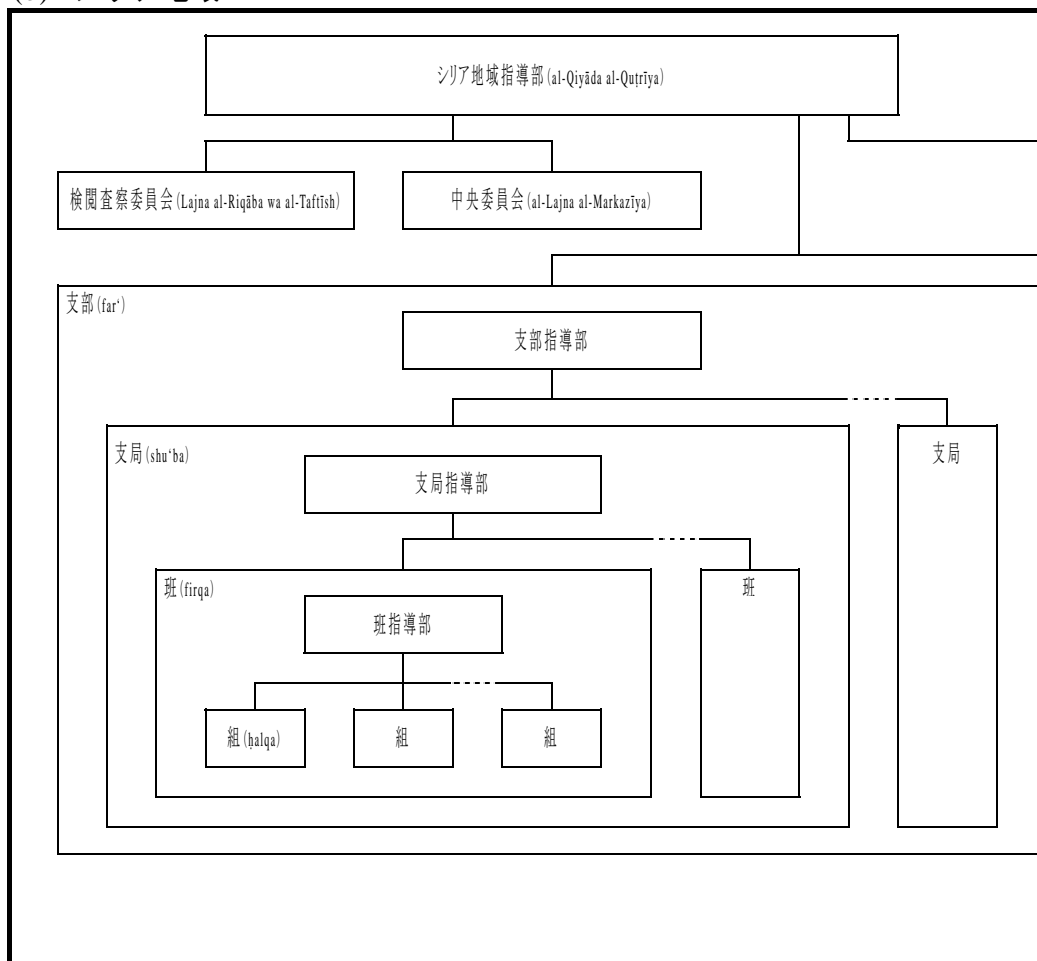
(3) 組織体系図

(a) アラブ民族 (2003年3月まで)



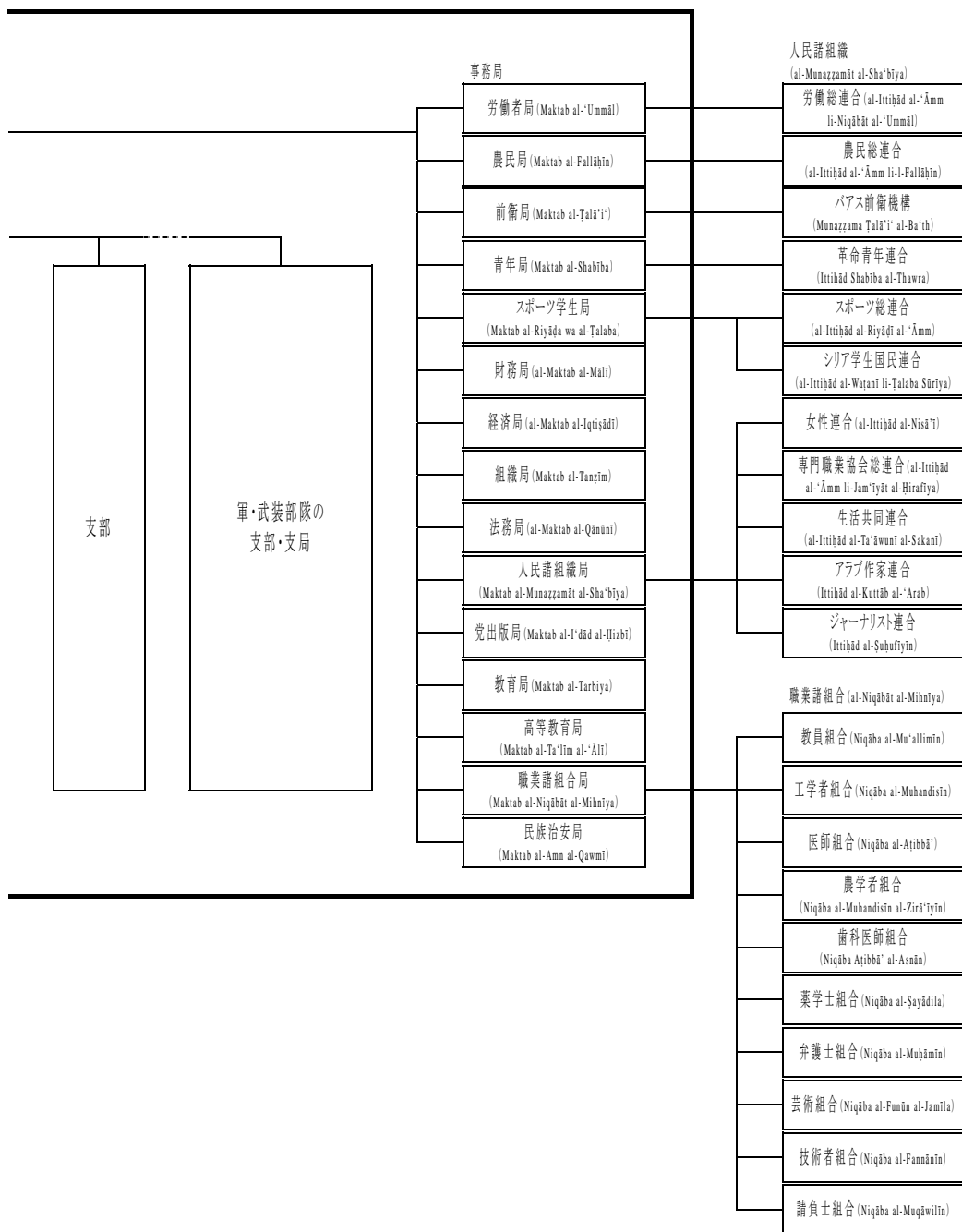
(出所) 筆者作成。

(b) シリア地域



(注) 第 10 回シリア地域大会で青年局，スポーツ学生局，教育局，高等教育局は青年スポーツ局 (Maktab al-Shabība wa al-Riyāda) と高等教育学生養育局 (Maktab al-Ta'lim al-‘Ālī wa al-Ṭalaba wa al-Tarbiya) に統合・再編。

(出所) 筆者作成。



7. 進歩国民戦線

(1) 加盟政党

党・組織名	加盟年
バアス党	1972 年 3 月
アラブ社会主義者運動アフマド派	1972 年 3 月
アラブ社会主義連合党	1972 年 3 月
アラブ民主連合党	2004.年 1 月
国民誓約党	1994 年
シリア共産党バクダーシュ派	1972 年 3 月
シリア共産党ファイサル派	1986 年
シリア民族社会党マハーイリー派	2005 年 5 月
統一社会主義者党	1972 年 3 月
統一社会民主主義党	1989 年

(出所) 筆者作成。

(2) 中央指導部

(a) バッシャー・アサド大統領就任に伴う改編 (2000 年 7 月 31 日)

氏名	所属政党
バッシャー・アサド(書記長)	バアス党
アブドゥッラー・アフマル(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ズハイル・マシャリーカ(副書記長)	バアス党
ムスタファー・アーイド ^(a)	バアス党
スライマーン・カッターフ	バアス党
アブドゥルカーディル・カッドゥーラ	バアス党
ファールーク・シャルア	バアス党
イッズディーン・ナースィル	バアス党
アブドゥルハリーム・ハッダーム	バアス党
ムハンマド・フサイン	バアス党
ムハンマド・ムスタファー・ミールー	バアス党
サッラーム・ヤースィーン	バアス党
ガッサーン・アブドゥルアズィーズ・ウスマーン	アラブ社会主義者運動ウスマーン派(現国民誓約党)
アブドゥルガニー・カンヌート ^(b)	アラブ社会主義者運動カンヌート派(現アフマド派)
サフワーン・クドスイー	アラブ社会主義連合党
ウィサール・ファルハ	シリア共産党バクダーシュ派
ダニエル・ニウマ	シリア共産党ファイサル派
ファーズ・イスマーイール	統一社会主義者党

氏名	所属政党
マクラム・タイヤーラ	統一社会主義者党
アフマド・アスアド ^(c)	統一社会民主主義党

(注) ^(a) 2001年1月に公金横領・贈収賄を追及され、2002年6月に人民議会議員を辞職。

^(b) 2001年3に死去。2002年5月15日、後任としてアフマド・アフマドが就任。

^(c) 2001年に死去。2003年8月6日、後任としてファドルッラー・ナースィルッディーンが就任。

(出所) 青山 [2001: 33], *Akhbār al-Sharq* [2002b], Ḥamīdī [2003a]をもとに筆者作成。

(b) ムハンマド・ナージー・アトリー内閣発足に伴う改編 (2003年10月14日)

氏名	所属政党
バッシャール・アサド(書記長)	バアス党
アブドゥッラー・アフマル(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ズハイル・マシヤーリカ(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ナージー・アトリー	バアス党
マフムード・アブラシュ	バアス党
スライマーン・カッダーフ	バアス党
ファールーク・シャルア	バアス党
イッズッディーン・ナースィル	バアス党
アブドゥルハリーム・ハッダーム	バアス党
ムハンマド・フサイン	バアス党
サッラーム・ヤースィーン	バアス党
アフマド・アフマド	アラブ社会主義者運動アフマド派
ガッサーン・アブドゥルアズィーズ・ウスマーン	アラブ社会主義者運動ウスマーン派(現国民誓約党)
サフワーン・クドスィー	アラブ社会主義連合党
ウィサール・ファルハ	シリア共産党バクダーシュ派
ダニエル・ニウマ ^(a)	シリア共産党ファイサル派
ファーイズ・イスマーイール	統一社会主義者党
マクラム・タイヤーラ	統一社会主義者党
ファドルッラー・ナースィルッディーン	統一社会民主主義党

(注) ^(a) 2003年12月に死去。

(出所) *Akhbār al-Sharq* [2003e], *al-Ḥayāt* [2004]をもとに筆者作成。

(c) アラブ民主連合党新規加盟に伴う改編 (2004年1月19日)

氏名	所属政党
バッシャール・アサド(書記長)	バアス党
アブドゥッラー・アフマル(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ズハイル・マシヤーリカ(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ナージー・アトリー	バアス党
マフムード・アブラシュ	バアス党

氏名	所属政党
スライマーン・カッターフ	バアス党
ファールーク・シャルア	バアス党
イZZッディーン・ナースィル	バアス党
アブドゥルハリーム・ハッダーム	バアス党
ムハンマド・フサイン	バアス党
サッラーム・ヤースィーン	バアス党
アフマド・アフマド	アラブ社会主義者運動アフマド派
ガッサーン・アブドゥルアズィーズ・ウスマーン	アラブ社会主義者運動ウスマーン派(現国民誓約党)
サフワーン・クドスィー	アラブ社会主義連合党
ガッサーン・アフマド・ウスマーン	アラブ民主連合党
ウィサール・ファルハ	シリア共産党バクダーシュ派
ユースフ・ファイサル	シリア共産党ファイサル派
ファーイズ・イスマーイール	統一社会主義者党
マクラム・タイヤラ	統一社会主義者党
ファドルッラー・ナースィルッディーン	統一社会民主主義党

(出所) *al-Hayāt* [2004]をもとに筆者作成。

(d) シリア民族社会党マハーイリー派新規加盟に伴う改編(2005年5月4日)

氏名	所属政党
バッシャール・アサド(書記長)	バアス党
アブドゥッラー・アフマル(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ズハイル・マシャリーカ(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ナージー・アトリー	バアス党
マフムード・アブラシュ	バアス党
スライマーン・カッターフ	バアス党
ファールーク・シャルア	バアス党
イZZッディーン・ナースィル	バアス党
アブドゥルハリーム・ハッダーム	バアス党
ムハンマド・フサイン	バアス党
サッラーム・ヤースィーン	バアス党
アフマド・アフマド	アラブ社会主義者運動アフマド派
サフワーン・クドスィー	アラブ社会主義連合党
ガッサーン・アフマド・ウスマーン	アラブ民主連合党
ガッサーン・アブドゥルアズィーズ・ウスマーン	国民誓約党
ウィサール・ファルハ	シリア共産党バクダーシュ派
ユースフ・ファイサル	シリア共産党ファイサル派
イサーム・マハーイリー	シリア民族社会党マハーイリー派
ファーイズ・イスマーイール	統一社会主義者党
マクラム・タイヤラ	統一社会主義者党
ファドルッラー・ナースィルッディーン	統一社会民主主義党

(出所) Akhbār al-Sharq [2005c]をもとに筆者作成。

(e) バアス党第10回シリア地域大会に伴う改編 (2005年7月11日)

氏名	所属政党
バッシヤール・アサド(書記長)	バアス党
スライマーン・カッダーフ(副書記長)	バアス党
ムハンマド・ナージー・アトリー	バアス党
アブドゥッラー・アフマル	バアス党
マフムード・アブラシュ	バアス党
ハイサム・サターイヒー	バアス党
ファールーク・シャルア	バアス党
イッズッディーン・ナーシル	バアス党
ムハンマド・サイード・バヒーターン	バアス党
ムハンマド・フサイン	バアス党
ムハンマド・ズハイル・マシャーリカ	バアス党
アフマド・アフマド	アラブ社会主義者運動アフマド派
サフワーン・クドスィー	アラブ社会主義連合党
ガッサーン・アフマド・ウスマーン	アラブ民主連合党
ガッサーン・アブドゥルアズィーズ・ウスマーン	国民誓約党
ウィサール・ファルハ	シリア共産党バクダーシュ派
ユースフ・ファイサル	シリア共産党ファイサル派
イサーム・マハーイリー	シリア民族社会党マハーイリー派
ファーズ・イスマーイール	統一社会主義者党
ファドルッラー・ナーシルッディーン	統一社会民主主義党

(出所) Ḥamīdī [2005b]をもとに筆者作成。

文献リスト

<日本語文献>

- 青山弘之 [2000] 「政治の多元化か独裁の再生産か——1990 年半ば以降のシリアにおける支配の論理——」『現代の中東』第 28 号 (3 月), 34~48 ページ。
- [2001] 「“ジュムルーキーヤ” への道 (1) ——バッシャール・アル=アサド政権の成立——」『現代の中東』第 31 号 (7 月), 13~37 ページ。
- [2003a] 「権威主義体制下の“民主的”プロセス——第 8 期シリア人民議会選挙の政治的効果—— (現状分析)」『現代の中東』第 35 号 (7 月), 56~68 ページ。
- [2003b] 「シリアにおける政党・政治組織——バッシャール・アル=アサド政権発足以降を中心に——」酒井啓子・青山弘之編『中東諸国における政権権力基盤と市民社会——研究会中間成果報告——』日本貿易振興会アジア経済研究所, 63~116 ページ。
- [2005a] 「権威主義・独裁維持のための「多元主義」——バッシャール・アサド政権下のシリア——」酒井啓子・青山弘之編『中東・中央アジア諸国における権力構造——したたかな国家・翻弄される社会——』アジア経済研究所叢書 1, 岩波書店, 25~70 ページ。
- [2005b] 「シリアにおけるクルド民族主義政党・政治組織 (1)」『現代の中東』第 39 号 (7 月), 58~84 ページ。
- [2005c] 「シリアにおけるクルド民族主義政党・政治組織 (2)」『現代の中東』第 40 号 (1 月), 20~31 ページ。
- [2006a] 「シリア——権威主義体制に対するクルド民族主義勢力の挑戦——」間寧編『西・中央アジア諸国における亀裂構造と政治体制』研究双書 No.555, 日本貿易振興機構アジア経済研究所, 159~209 ページ。
- [2006b] 「シリアにおけるクルド民族主義政党・政治組織 (補足) ——ハリリー元首相暗殺に伴う政情変化のなかで (2005 年) ——」『現代の中東』第 41 号 (7 月), 65~94 ページ。

<外国語文献>

- ‘Abbās, Shīrkūh (Maktab Ri’āsa al-Majlis al-Waṭanī al-Kurdistānī – Sūriyā) [2006] “Li-Yakūna Iḥyā’ Hādhīhi al-Dhikrā ‘Āmil Tawḥīd,” October 1.
- Akhbār al-Sharq (<http://www.thisissyria/net/>) [2001a] “Mīrū Yushakkilu Ḥukūma-hu al-Thāniya,” December 14.
- [2001b] “Hishām Bikhtiyār Yakhluḥu al-Liwā’ Ḥammūd fī Qiyāda al-Mukhābarāt al-‘Āmma,” December 20.

- [2002a] “Ba‘da Taghyīr Qiyāda al-Jaysh al-Sūrī .. Anbā’ ‘an Taghyīr fī al-Istikhbārāt al-‘Askariya,” January 23.
- [2002b] “Tadakhkhul Ḥukūmī li-Ḥasm al-Khilāf ‘alā Qiyāda Ḥizb fī al-Jabha al-Waṭaniya al-Taḡaddumiya,” May 16.
- [2002c] “Maḥaṭṭāt fī ‘Umr Majlis al-Sha‘b al-Sābi’,” December 19.
- [2002d] “Majlis al-Sha‘b al-Sūrī fī Arqām,” December 19.
- [2003a] “Faṭḥ Bāb al-Tarshīḥ li-l-Intikhābāt al-Niyābiya al-Sūrīya,” January 17.
- [2003b] “Akthar min 10 Ālāf Murashshaḥ li-Khawḍ Intikhābāt Majlis al-Sha‘b al-Sūrī,” January 27.
- [2003c] “10 Malāyīn Nākhīb Yaḥuqqu la-hum al-Taṣwīt fī Intikhābāt Majlis al-Sha‘b al-Sūrī,” February 11.
- [2003d] “Intikhābāt Majlis al-Sha‘b 2003 fī Arqām,” March 6.
- [2003e] “Ta’yīn ‘Aṭrī wa al-Abrash fī al-Qiyāda al-Markaziya li-l-Jabha al-Taḡaddumiya,” October 15.
- [2003f] “Far’ al-Munazzama al-‘Arabīya li-Ḥuqūq al-Insān fī Sūrīya Yaḍummu 84 Nāshiṭan,” December 8.
- [2004a] “al-Wuzarā’ al-Judud fī Sutūr,” October 5.
- [2004b] “Kana‘ān Yaṭlubu Tawḥīd Marja’īya al-Ajhiza al-Amniya taḥta Ri’āsa-hi,” October 11.
- [2004c] “Ḥall Far’ “Amn al-Qūwāt” bi-Ri’āsa Āṣif Shawkat wa Ta’yīn-hu Nā’iban li-Ḥasan Khalīl,” November 20.
- [2005a] “al-Liwā’ Muḥammad Maṣṣūra Ra’isan li-l-Amn al-Siyāsī Khalfan li-Ghāzī Kana‘ān,” January 16.
- [2005b] “Āṣif Shawkat Ra’isan li-Mukhābarāt al-‘Askariya Khalfan li-Liwā’ al-Mutaqā’id Ḥasan Khalīl,” February 19.
- [2005c] “Inḍimām Janāḥ min “al-Ḥizb al-Sūrī al-Qawmī al-Ijtimā’ī” ilā “al-Jabha al-Waṭaniya al-Taḡaddumiya,” May 5.
- [2005d] “Hal Taṣilu ‘Adwā “Tadāwul al-Sulṭa” ilā al-Ḥizb al-Ḥākim: Jam’īya Ḥuqūq al-Insān fī Sūrīya Tantakhibu Idāra Jadīda wa Haytham al-Mālīḥ khārija al-Idāra,” May 9.
- [2005e] “al-Amn al-Sūrī Yu’linu Ḍabṭ Majmū’a “Takfīriya Irhābiya” bi-Dimashq wa Qatl Ithnayni min Afrād-hā,” June 11.
- [2005f] “Tawzī’ al-Makātib bayna A’ḍā’ al-Qiyāda al-Quṭriya .. wa Bakhītān Amīnan Quṭriyan Musā’idan li-Ḥizb al-Ba’th,” June 12.
- [2005g] “Ta’yīn Mudīr Jadīd li-l-Mukhābarāt al-‘Āmma fī Sūrīya Qādim min al-Mukhābarāt al-Jawwiya,” June 13.
- [2005h] “Ta’yīn al-Dardārī Nā’iban li-Ra’īs al-Wuzarā’ al-Sūrī li-l-Shu’ūn al-Iqtisādīya,” June 14.
- [2005i] ““Usbū’ al-Qarārāt” Yakhtatimu bi-Taghyīrāt fī al-Mu’assasa al-Amniya al-Sūrīya ... Tathbīt Āṣif Shawkat Ra’isan li-l-Amn al-‘Askariya wa Naql Bahjat Sulaymān min Far’ al-Amn Dākhilī,” June 17.
- [2005j] “Qālat inna-humā Kānā Ya‘malāni bi-Imra’ Bashshār al-Asad: Wāshīṭun Tujammidu Arṣida Ghāzī Kana‘ān wa Rustum Ghazāla .. wa Dimashq Ghāḍiba,” June 30.
- [2005k] “al-I’lān ‘an Ta’sīs Ḥizb Jadīd fī Sūrīya,” July 26.

- [2005l] “al-Sulṭāt al-Sūrīya Yu‘linu ‘an Ishtibākāt ma‘a “Majmū‘a Takfīrīya Musallaḥa” fī al-Ḥasaka,” September 8.
- [2005m] “Mahāmm-hu lam Tantahi ba‘adu: Rustum Ghazāla Ra’īsan li-Far’ Qūwāt Mukāfaḥa al-Irhāb,” September 10.
- [2006a] “Ta‘yīn al-Liwā’ Nāṣīf Mu‘āwinan li-l-Shar’: Hal Huwa Takrīs “li-l-Dawla al-Amnīya” fī Sūrīya,” February 20.
- [2006b] “Tanaqqulāt fī al-Mukhābarāt al-‘Askarīya .. wa Naql “Iqābī” li-Mudīr Far’ Dimashq ‘alā Khalfīya Ihrāq al-Sifāra al-Dinmārkiya,” March 2.
- [2006c] “Marsūm bi-Ta‘yīn Mu‘āwinayni li-Nā’ibay al-Ra’īs .. wa “al-Amnīyūn Jāhizūn li-Shughl Manāṣib-him al-Jadīda,” April 3.
- [2006d] “Hal Uḥīla al-Liwā’ ‘Izz al-Dīn Ismā’īl ilā al-Taqa‘ud ba‘da Mushādḍa ma‘a Māhir al-Asad?,” April 12.
- [2006e] “al-Mu’tamar al-Ta’sīsī li-Jabha al-Khulāṣ al-Waṭanī fī Sūrīya Yabda’u A‘māl-hu fī Lundun,” June 4.
- [2006f] “Jamā‘a Sūrīya Tuṭliq ‘alā Nafs-hā Ism “Ḥizb al-Waṭan al-Ḥurr” Tatabannā ‘Amaliya fī al-Jawlān al-Muḥtall,” August 3.
- [2006g] “al-Sulṭāt al-Sūrīya Tamna‘u ‘Aqd Ijtimā’ Taḥdīrī li-I‘lān al-Tajammu’ al-Librālī al-Dīmuqrāṭī,” August 6.
- [2006h] “I‘lān Dimashq Yakhtaru A‘dā’ Amāna-hi al-‘Āmma .. wa Riyāḍ Sayf Ra’īsan la-hā,” August 8.
- Aoyama, Hiroyuki [2001] *History Does Not Repeat Itself (Or Does It?!): The Political Changes in Syria after Ḥāfiẓ al-Asad’s Death*. M.E.S. Series No. 50, Chiba: IDE-JETRO.
- Azmashlī, Samr [2001] “Tashkīla al-Ḥukūma al-Sūrīya al-Jadīda: Khafaḍ al-Wizārāt wa Tamassuk bi-al-Taḥdīth,” *al-Ḥayāt*, December 14.
- Barīmū, Nūrī (Nāṭiq bi-Ism Ḥaraka al-Ḥaqīqa al-Kurdistānīya – Sūriyā) [2006] “al-Bayān al-Ta’sīsī li-Ḥaraka al-Ḥaqīqa al-Kurdistānīya – Sūriyā,” May 17.
- al-Ba‘th* [2003] “10423 Murashshaḥan li-Majlis al-Sha‘b Yatanāfasūna ‘alā 250 Maq‘adan,” January 26.
- al-Ḥājj, Ṣāliḥ Yāsīn [2006] “Bayna Lībrālīyatayni fī Sūriyā: – Lībrālīya Mawḍū‘īya – bilā Wa’y Dhātī, wa – Lībrālīya Dhātīya – bilā Shurūṭ Mawḍū‘īya,” *al-Ḥiwār al-Mutamaddīn* (<http://www.rezgar.com/debat/nr.asp>), No. 1600 (July 3).
- Ḥamīdī, Ibrāhīm [1999] “Dimashq: Tathbīt Ḥūrī fī Idāra al-Mukhābarāt wa Ta‘yīn Nāṣīf Mu‘āwinan la-hu,” *al-Ḥayāt*, September 24.
- [2000] “Sūrīya: Ḥukūma Mīrū Taḍūmmu 25 Ba‘thīyan wa Khamsa Mustaqillīn wa Sitta “Jabhawīyīn,” *al-Ḥayāt*, March 15.
- [2003a] “al-Asad Yu‘ayyinu Nāṣir al-Dīn fī Qiyāda “al-Jabha” ... wa al-Akfa’ ilā al-Ḥukūma al-Murtaqaba,” *al-Ḥayāt*, August 7.
- [2003b] “Ḥukūma ‘Aṭrī: “al-Ba‘th” Yaḥtafiẓ bi-Ghālībīya 17 Ḥaqā’ib wa 6 li-l-Mustaqillīn wa 7 li-l-Jabha,” *al-Ḥayāt*, September 19.
- [2003c] “Ḥukūma ‘Aṭrī: Ghālībīya li-l-Ba‘th wa Insijām fī al-Farīq al-Iqtisādī,” *al-Ḥayāt*, September 19.
- [2005a] “Dimashq: Āṣif Shawkat Ra’īsan li-al-Amn al-‘Askarī Khalfan li-Ḥasan Khalīl,” *al-Ḥayāt*, February 19.
- [2005b] “al-Asad Yu‘ayyinu Bakhītān wa Saṭāyihī fī Qiyāda “al-Jabha al-Taqaddumīya” ... I‘fā’ Khaddām min Thānī Manṣib la-hu wa Baqa’-hu ‘Aḍwan

- fī al-Qiyāda al-Qawmīya li-“al-Ba‘th’,” *al-Hayāt*, July 12.
- [2005c] “Kushifa Makhba’ Mutafajjirāt fī Lubnān ... Ishtibāk Qūwāt Sūrīya wa “Jund al-Shām” fī Minṭaqa Qarība min Hudūd Lubnān,” *al-Hayāt*, August 23.
- [2005d] ““Waḥda Mukāfaha al-Irhāb” Ishtabakat ma‘a-hum Sā‘atayni khilāla ‘Amalīya Dahm ... Qūwāt al-Amn al-Sūrīya Taqtulu 5 min “Jund al-Shām” fī Ḥamā,” *al-Hayāt*, September 4.
- [2006a] “Tanẓīm Jadīd fī al-Jawlān Yulawwiḥu bi-Khaṭf Junūd Isrā‘īlīyīn li-Mubādala-him bi-Asrā,” *al-Hayāt*, August 31.
- [2006b] ““Umar Ḥamrā” Kāna Yaḥmilu Tis’ Biṭāqāt Hūwīya wa Daftar ‘Ā‘ila Lubnānīyan ... al-Mas‘ūl al-‘Askarī li-“Tanẓīm al-Tawḥīd wa al-Jihād” Yufajjiru Nafs-hu ‘alā al-Hudūd al-Sūrīya – al-Lubnānīya,” *al-Hayāt*, November 29.
- Ḥaraka al-‘Adāla wa al-Binā’ [2006] “al-Bayān al-Ta’sīsī,” May 10.
- Ḥaraka al-Ḥaqīqa al-Kurdistānīya – Sūriyā [2006] “Bayān: Ḥaraka al-Ḥaqīqa al-Kurdistānīya – Sūriyā Tu‘linu Ḥall Nafs-hā wa Tad‘ū Tanẓīmāt-hā wa Jamāhīr-hā li-l-Inḍimām ilā al-Bārtī,” September 25.
- al-Hayāt* [2002] “Ghāzī Kana‘ān Ashrafa khilāla 20 ‘Āman ‘alā al-Maḥaṭṭāt al-Asāsīya fī Lubnān,” October 10.
- [2004] “al-Asad Yu‘ayyinu al-Fayṣal wa ‘Uthmān fī Qiyāda “al-Jabha al-Waṭanīya,” January 20.
- Ḥizb Āzādī al-Kurdī fī Sūriyā, Ḥizb Yakītī al-Kurdī fī Sūriyā and Tayyār al-Mustaqbal al-Kurdī fī Sūriyā [2006] “Balāgh Ṣādir ‘an Liqā’ Thulāthī li-Ḥizbay Yakītī wa Āzādī wa Tayyār al-Mustaqbal al-Kurdī,” July 23.
- al-Ḥizb al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī al-Sūrī – al-Qiyāda al-Mu‘aqqata [2006] “Bayān ilā al-Ra’y al-‘Amm al-Kurdistānī wa al-‘Ālamī,” June.
- al-Ḥizb al-Dīmuqrāṭī al-Taḡaddumī al-Kurdī fī Sūriyā – al-Maktab al-Siyāsī [2006] “Taṣrīḥ: Nanfī bi-Shakl Qāṭi’ Ḥuḍūr Ayy Mumaththil li-Ḥizb-nā fī al-Mu’tamar al-Ta’sīsī li-l-Majlis al-Waṭanī al-Kurdistānī – Sūriyā,” June 10.
- al-Ḥizb al-Lībrālī al-Sūrī [2006] “Ta’sīs al-Ḥizb al-Lībrālī al-Sūrī,” January 1.
- Ḥizb al-Waṭanīyīn al-Ahrār al-Sūrīyīn – al-Hay’a al-Qiyādīya [2006] “Bayān min al-Hay’a al-Qiyādīya li-Ḥizb al-Waṭanīyīn al-Ahrār al-Sūrīyīn,” June 20.
- Ittiḥād al-Ḥuqūqīyīn al-Kurd fī Sūriyā – al-Hay’a al-‘Ulyā [2006] “al-Bayān al-Khitāmī li-A’māl al-Mu’tamar al-Ta’sīsī al-Awwal li-Ittiḥād al-Ḥuqūqīyīn al-Kurd fī Sūriyā,” September.
- İzinzstādt, Mīshāl [2002] “Man Yaḥkumu Sūrīya?: Bashshār al-Asad wa al-Sāda al-‘Alawīyūn,” Markaz al-Sharq al-‘Arabī li-l-Dirāsāt al-Ḥaḍārīya wa al-Istrātījīya (<http://www.asharqalarabi.org.uk/>), July 15.
- Jabha al-Khulāṣ al-Waṭanī fī Sūrīya – al-Hay’a al-Ta’sīsīya [2006] “al-Bayān al-Khitāmī li-l-Mu’tamar al-Ta’sīsī li-Jabha al-Khulāṣ al-Waṭanī fī Sūrīya,” June 5.
- Lajna Ḥuqūq al-Insān al-Kurdī fī Sūriyā (Māf) [2006] “Bayān fī al-Dhikrā al-Sanawīya al-‘Āshira li-Ta’sīs (Māf) wa 44 ‘Āman ‘ala al-Iḥṣā’,” October 4.
- al-Lajna al-Kurdīya li-Ḥuqūq al-Insān [2006] “al-Qānūn al-Asāsī,” April.
- al-Lajna al-Kurdīya li-Ḥuqūq al-Insān – Majlis al-Idāra [2006] “al-Bayān al-Ta’sīsī li-l-Lajna al-Kurdīya li-Ḥuqūq al-Insān,” April 9.
- al-Lajna al-Mu‘aqqata li-I’lān Dimashq [2006] “Haykalīya I’lān Dimashq wa Ālīya ‘Amal-hā,” April 24.
- Lajna al-Tansīq min Ajl al-Taghyīr al-Dīmuqrāṭī fī Sūriyā [2005a] “Balāgh Ṣuḥufī:

- Taḥta Shi‘ār al-Taghyīr al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī al-Munāhiḍ li-l-Istiqwā’ bi-al-Khārij fī Sūriyā,” October 20.
- [2005b] “al-Bayān al-Ta’sīsī li-Lajna al-Tansīq min Ajl al-Taghyīr al-Dīmuqrāṭī fī Sūriyā,” November 17.
- Majlis al-Taḍāmun al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī – Kurdistan Sūriyā [2006] “Bayān I’lān Majlis al-Taḍāmun al-Dīmuqrāṭī al-Kurdī – Kurdistan Sūriyā,” May 20.
- al-Majlis al-Waṭanī al-Kurdistānī – Sūriyā [2006] “al-Bayān al-Khitāmī al-Şādir ‘an al-Mu’tamar al-Ta’sīsī li-l-Majlis al-Waṭanī al-Kurdistānī – Sūriyā,” May 29.
- Mārtīnī, Bahīya [2006] “Wilāda Hizb Sūrī Mu’āriḍ ... fī Tikās,” İlāf (<http://www.elaph.com/>), March 30.
- al-Munazzama al-Waṭanīya li-Huqūq al-Insān fī Sūriyā [2006] “Bayān ḥawla I’lān Ta’sīs al-Munazzama al-Waṭanīya li-Huqūq al-Insān fī Sūriyā,” March 29.
- al-Nahār [2003] “al-Intikhābāt al-Awwal fī ‘Ahd Bashshār Tastakmilu al-Yawm: Dimashq Tanbahitu ilā Shirā’ al-Aşwāt wa Hizbān ghayr Murakkhaşayni ‘alā Qā’ima al-Jabha,” March 3.
- SANA (Syrian Arab News Agency) [2000] “Addā al-Sayyid al-Duktūr Bashshār al-Asad Ra’īs al-Jumhūrīya al-Muntakhab al-Qasm al-Dustūrī amāma Jalsa Istithnā’īya ‘Aqada-hā Majlis al-Sha‘b qabla Ḥuhr Yawm al-Ithnayni al-Wāqī’ fī 17/7/2000 İdhānan bi-Bad’ Wilāya-hu al-Dustūrīya wifqan li-Aḥkām al-Mādda 90 min Dustūr al-Jumhūrīya al-‘Arabīya al-Sūriya,” July 17.
- [2003] “Wazīr al-Dākhilīya / I’lān Natā’ij,” March 5.
- [2005a] “al-Mu’tamar al-Quṭrī Yantakhibu A’dā’ al-Qiyāda al-Quṭrīya,” June 9.
- [2005b] “Wafāt Wazīr al-Dākhilīya fī Maktab-hi bi-Dimashq qabla Ḥuhr al-Yawm,” October 12.
- [2006a] “Nabdha ‘an Ḥayāt A’dā’ al-Ḥukūma al-Jadīda,” February 11.
- [2006b] “al-Sayyid al-Ra’īs Yuşdiru Marsūman bi-Tasmiya al-Shar’ Nā’iban li-Ra’īs al-Jumhūrīya,” February 11.
- [2006c] “al-Duktūra al-‘Aṭṭār Tu’addī al-Yamīn al-Dustūrīya amāma al-Ra’īs al-Asad ka-Nā’ib li-Ra’īs al-Jumhūrīya,” March 23.
- al-Siyāsa [2006] “İqāla Mudīr al-Mukhābarāt al-Jawwīya al-Sūriya ithra Mushādda ma’a Māhir al-Asad,” April 12.
- al-Tajammu’ al-‘Almānī al-Dīmuqrāṭī al-Lībrālī [2005] “Bayān Şādir “ADL” wa bi-Asmā,” August 6.
- al-Tajammu’ al-Waṭanī al-Dīmuqrāṭī al-Sūrī – TWD – Hay’a al-Tansīq al-‘Ulyā [2006] “Bayān: TWD Yuhanni’u al-Sha‘b al-Sūrī bi-al-Mawlid al-Nabawī al-Sharīf wa ‘İd al-Faşḥ wa Dhikrā al-Jalā’ wa Yu’linu İndīmām-hu ilā Jabha al-Khulāş al-Waṭanī,” April 16.
- Tawfīq, Dunyā (al-Munassiq al-‘Āmm li-l-Jam’īya al-Waṭanīya al-Sūriya – Kanadā) [2006] “Bayān Siyāsī,” May 17.
- al-Thawra [2005] “al-Mu’tamar al-Quṭrī al-‘Āshir li-Hizb al-Ba’th Yakhtatimu A’māl-hu wa Yuqirru al-Taqrīr wa al-Tawşīyāt ... Intikhāb al-Ra’īs al-Asad Amīnan Quṭrīyan li-l-Hizb wa A’dā’ al-Qiyāda al-Quṭrīya wa al-Lajna al-Markazīya wa Lajna al-Riqāba wa al-Taftīsh ... al-Tawşīyāt: İşdār Qānūn li-l-Aḥzāb wa al-I’lām wa Murāja’ wa Ta’dīl Qawānīn al-Ṭawāri’ wa al-Maṭbū’āt wa al-Tawajjuh al-İqtisād al-Sūq al-İjtimā’ī,” June 10.